

添付書類五 定期事業者検査の判定方法

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い、表-1に記載する検査の方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、又は点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は、設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類四 別紙-1 点検計画参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(施設定期検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、施設定期検査を受けるべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(施設定期検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査(※)
- ・クラス2機器供用期間中検査(※)
- ・クラス3機器供用期間中検査(※)
- ・供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査(※)
- ・原子炉格納容器供用期間中検査(※)
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査(※)
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シンプルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・中央制御室の居住性確認検査

*：第15保全サイクルの実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、判定に考慮した第二段階検査に移行可能な検査

○また、第16サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・燃料集合体外観検査
- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態でき裂、変形、摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格維持規格」(JSME S NA1-2008)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、漏えいの有無又は漏えい率 [※] を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定 ^{※※} 、校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、インターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で発電用原子炉施設の運転を行い、各発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。
③ 各部の損傷、変形、摩耗等による異常の発生兆候を作動している状態で確認するために十分な方法	プラント運転中の機能・性能検査(状態監視を含む)	機器運転状態において、状態の監視(異常の発生兆候の確認)を行うとともに、機器の機能・性能を確認する。

※:漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※:絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類四 別紙-1)のとおり。

なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書

伊方発電所 第3号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付-1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付-2のとおり。

- 添付-1 保全の有効性評価結果について
- 添付-2 保全の有効性評価の結果等により保全へ反映した事項について
- 参 考 保全活動管理指標の実績について

保全の有効性評価結果について

保守内規, 不適合管理内規, 予防処置管理内規等に基づき, 有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類1	分類2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	H29(2017).8.1~ R1(2019).9.30	すべてのプラントレベルの指標は目標値以内であり保全が有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF : H29(2017).8.1~ R1(2019).9.30 UA : H23(2011).1.1~ R1(2019).9.30	「外部電源系統」の「PS-3④電源供給機能【LC0】」においてUA時間が目標値を超過したが、これは保安規定第88条に規定されている予防保全を目的とした点検を計画的に実施したことによるものであるため、保全計画の見直しは不要と評価した。その他の系統レベルの指標は目標値以内であり保全が有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検手入れ前データ, 状態監視データ, 運転データ	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	過去の点検手入れ前データ, 状態監視データ, 運転データについてデータの推移及び経年劣化の長期的な傾向について評価を行った結果, 添付-2のとおり保全計画へ反映した。
c. トラブルなどの運転経験	④当該号機のトラブル及び不適合	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	不適合情報を用いて評価を行った結果, 添付-2のとおり保全計画に反映した。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤当該号機の高経年化技術評価及び安全性向上評価	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	当該号機の安全性向上評価(R1(2019).5)の結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった また, 当該号機では前サイクルに高経年化技術評価は実施していない。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他号機の不適合情報	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	予防処置情報(当社他号機の不適合情報)について評価を行った結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報(NUC I A情報)	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	予防処置情報(国内他プラントのトラブル情報, 保全品質情報)を用いて評価を行った結果, 添付-2のとおり保全計画へ反映した。
	⑧海外情報	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	予防処置情報(NRC情報, INPO情報等)を用いて評価を行った結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑨通達等の文書	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	通達等の文書について評価を行った結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった。
f. リスク情報, 科学的知見	⑩リスク情報	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	リスク情報について評価を行った結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑪電力共同研究・技術開発	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	電力共同研究の成果及び新たな技術開発について評価を行った結果, 保全計画に反映すべき事項はなかった。
g. その他	⑫傾向管理情報	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	予防処置情報(運転監視, 燃料管理による情報)について評価を行った結果, 保全計画へ反映すべき事項はなかった。
	⑬その他自主的な取り組み	H29(2017).10.3~ R1(2019).11.5	自主的な取り組みとして, 添付-2のとおり保全計画へ反映した。

注: 前々保全サイクルのH29(2017).8.26~H29(2017).10.21において, ③~⑬に関して保全計画へ反映した事項はなかった。

前回からの主な変更点（保全の有効性評価の結果等により保全へ反映した事項）

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	イン プット 情報の 項目※	事象の概要	評価内容	
—	なし	—	—	—	—	—	—	—

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
1	500kV OFケーブル	OFケーブル点検 (精密)	78M	39M	⑦	平成28年10月に発生した他電力の地 中送電(OF)ケーブルからの出火事象に 鑑み、点検計画を見直した。	第14回施設定期検査の点検結果によ ると、劣化は認められず点検結果は良 好であり、過去の点検結果において も、劣化や特性の変化は認められてい ない。 平成28年10月に発生した他電力の地 中送電(OF)ケーブルからの出火事象に 鑑み、同事象の再発防止を図るべくOF ケーブル点検(精密)の点検頻度を78Mから 39Mに短縮することにより適切な保守管 理を行うことが可能であると判断し た。	④	

※ : インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及びび取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
2	D/G機関3A入口シリンダ 冷却水圧カスケット (3PS-4304) D/G機関3A入口潤滑 油圧カスケット (3PS-4332)	項目	13M	52M	③	第14回施設定期検査にて採取した計 器点検前データ及び過去の点検実績等 を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点 検前データによると、機能に影響を及 ぼす劣化は認められなかった。 また、計器点検前データが52M相当の 期間連続にて許容差範囲内を推移す ることが確認できた。 以上のことから、52Mの点検(変更前 から39Mの延長)により適切な保守管理 を行うことが可能であると判断した。	①	133 非常用予備発電機付属設備 検査

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用了した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		変更前	変更後					
3	余熱除去ポンプ 3A, 3B 出口圧力伝送器 (3PT-601, 611) 蓄圧タンク3B圧力伝送 器 (3PT-921) 高圧注入ポンプ 3A, 3B 出口圧力伝送器 (3PT-962, 963)	26M	52M	③	第14回施設定期検査にて採取した計 器点検前データ及び過去の点検実績等 を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点 検前データによると、機能に影響を及 ぼす劣化は認められなかった。 また、計器点検前データが52M相当の 期間連続にて許容誤差範囲内を推移す ることが確認できた。 以上のことから、52Mの点検(変更前 から26Mの延長)により適切な保守管理 を行うことが可能であると判断した。	①	

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			4つの評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容			
		項目	変更前				変更後		
4	RCP-3A, 3B封水注入 機 流量伝送器 (3FT-150, 160) 蓄圧タンク3A圧力伝送 器 (3PT-910, 911)	伝送器単体 調整試験	52M	104M	③	第14回施設定期検査にて採取した計 器点検前データ及び過去の点検実績等 を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点 検前データによると、機能に影響を及 ぼす劣化は認められなかった。 また、計器点検前データが104M相当 の期間連続にて許容誤差範囲内を推移 することが確認できた。 以上ことから、104Mの点検(変更前 から52Mの延長)により適切な保守管理 を行うことが可能であると判断した。	①	

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
5	制御用空気圧縮機3A (3PS-1820) 潤滑油圧力スイッチ 制御用空気だめ 3A, 3B圧力(圧力低自 動起動用) (3PS-1830, 1860) D/G機関3A入口潤滑 油圧力スイッチ (3PS-4329, 4330, 4331)	単体調整試 験	26M	52M	③	第14回施設定期検査にて採取した計 器点検前データ及び過去の点検実績等 を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点 検前データによりますと、機能に影響を及 ぼす劣化は認められなかった。 また、計器点検前データが52M相当の 期間連続にて許容誤差範囲内を推移す ることが確認できた。 以上のことから、52Mの点検(変更前 から26Mの延長)により適切な保守管理 を行うことが可能であると判断した。	①	

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		変更前	変更後						
6	RCP-3B第3センサーカブライア水位伝送器 (3LT-169)	項目 伝送器単体 調整試験	26M	13M	③	第14回施設定期検査にて採取した計器点検前データ及び過去の点検実績等を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点検前データで許容誤差を逸脱していることが確認された。 また、2定検続けて許容誤差を逸脱していることから、13Mの点検(変更前から13Mの短縮)により適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	①	72 計測制御系監視機能検査

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)		
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前						変更後
7	D/G機関3A, 3B入口潤滑油圧力指示計(3PI-4327, 4427) D/G機関3A, 3B入口シリンガ冷却水圧力スイッチ(3PS-4303, 4305, 4403, 4404, 4405) D/G機関3A, 3B入口潤滑油圧力スイッチ(3PS-4333, 4334, 4432, 4433, 4434)	単体調整試験	26M	52M	③	第14回施設定期検査にて採取した計器点検前データ及び過去の点検実績等を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点検前データによると、機能に影響を及ぼす劣化は認められなかった。また、計器点検前データが52M相当の期間連続にて許容誤差範囲内を推移することを確認できた。以上ことから、52Mの点検(変更前から26Mの延長)により適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	①	I33 非常用予備発電機付属設備検査

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
8	余熱除去ポンプ 3A, 3B電動機 電動補助給水ポンプ 3A, 3B電動機 格納容器XVレイトン 3A, 3B電動機	潤滑油診断	1C	2C	③	第14回施設定期検査にて実施した潤滑油診断の結果から潤滑油診断の頻度を見直した。	第14回施設定期検査にて実施した潤滑油診断の結果、1C使用後の潤滑油の汚染状態に異常がなく、設備の劣化傾向に問題は認められなかった。 また、劣化傾向から2C使用後の汚染状態を予測すると、管理値に十分な余裕があることから、診断頻度を延長しても問題ないと判断した。 以上ことから、潤滑油診断を当該機器の潤滑油の入れ替え頻度に合わせ、2C(変更前から1Cの延長)とすることにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	②	

※：インプット情報は添付－1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)		
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前						変更後
9	蒸気発生器水張ポン プ3号電動機	潤滑油診断	IC	2C	③	第14回施設定期検査にて実施した潤滑油診断の結果から潤滑油診断の頻度を見直した。	第14回施設定期検査にて実施した潤滑油診断の結果、IC使用後の潤滑油の汚染状態に異常がなく、設備の劣化傾向に問題は認められなかった。また、劣化傾向から2C使用後の汚染状態を予測すると、管理値に十分な余裕があることから、診断頻度を延長しても問題ないと判断した。以上ことから、潤滑油診断を当該機器の潤滑油の入れ替え頻度に合わせ、2C(変更前からICの延長)とすることにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	②	

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に応じた評価方法
 ① 点検及び取替結果の評価
 ② 劣化トレンドによる評価
 ③ 研究成果等による評価
 ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価				備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
10	補助建屋サブコンポ ンブ 3A, 3B	振動診断	—	IC	⑬	自主的な取り組みとして、振動診断 を新たな保全項目として適用した。	類似機器(ワットボーン等)をベンチマー クした結果、振動診断(頻度はIC)を適 用することにより適切な保守管理を行 うことが可能であると判断した。	④	—

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
11	焼却炉建家給気ファン A, B 焼却炉建家給気ファン A, B電動機 焼却炉建家排気ファン A, B, C 焼却炉建家排気ファン A, B, C電動機 前処理室排気ファン 前処理室排気ファン電 動機 高圧圧縮棟給気ファン A, B電動機 高圧圧縮棟排気ファン A, B電動機	赤外線診断	IM	—	③	当該設備の軸受部異常については、 振動診断にて検知可能であることから 赤外線診断を取り止めた。	平成23年から実施している赤外線診 断の結果については、これまでに採取 したデータが全て管理値内を推移してお り、異常徴候は認められていない。 また、当該設備の軸受部の異常は振 動診断で検知可能である。 以上のことから、赤外線診断を取り 止めても適切な保守管理を行うことが 可能であると判断した。	②	—

※ : インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及びび取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
12	補助建屋排気ファン 3A, 3B, 3C	赤外線診断	—	IM	⑬	自主的な取り組みとして、赤外線診断を新たな保全項目として適用した。	類似機器(廃棄物処理室排気ファン等)をベンチマークした結果、振動診断に加え赤外線診断(頻度はIM)を適用することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	④	—

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
13	補助ボイラントラジアン注 入ボイラ 3A, 3B	振動診断	—	IC	⑬	自主的な取り組みとして、振動診断 を新たな保全項目として適用した。	類似機器(補助ボイラントラジアン等)をベ ンチマークした結果、振動診断を適用す ることが可能であると判断した。 なお診断頻度は、3号機が施設定期検 査中および補助ボイラが連続運転してい るときに運転する機器であることから ICとする。	⑭	

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)			
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更	項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※		事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※
14	安全補機開閉器室空 調ファン3A, 3B電動機		分解点検(本 体) 機能・性能 試験	15Y 15Y	156M 12C	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等 の運転に影響を及ぼす可能性があるこ とから、プラント運転中よりも施設定期検 査時に実施することが適切であるた め、「年度管理」から「保全サイクル管 理」へ変更することにより適切な保守 管理を行うことが可能であると判断し た。 なお、点検頻度については同程度と なるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)		
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更 項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要		評価内容	4つの 評価項目 ※※
15	蓄電池室排気ファン 3A, 3B電動機	分解点検(本体)	7Y	65M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性があることから、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全マイク管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)		
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更 項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要		評価内容	4つの 評価項目 ※※
16	補助建屋排気ファン 3A, 3B, 3C電動機	分解点検(本 体) 機能・性能 試験	7Y 7Y	6Y 6Y	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	分解点検の頻度(7Y)を絶縁特性試験 (3Y)の倍数(6Y)にすることで、分解点 検と絶縁特性試験の頻度が一定の間隔 となることから適切な保守管理を行う ことが可能であると判断した。	①	77 1次系換気空調設備機能検査

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容				評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前					変更後	
17	ディーゼル発電機室給 気ファン3A, 3B, 3C, 3D電 動機 電動補助給水ポンプ 室給気ファン3A, 3B電動 機 タービン補助給水ポン プ室給気ファン3A, 3B電 動機	機能・性能 試験 分解点検(本 体)	1Y 12Y	1C 117M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等 の運転に影響を及ぼす可能性及び非待 機時間(UA時間)の発生を考慮すると、 プラント運転中よりも施設定期検査時に実 施することが適切であるため、「年度 管理」から「保全サイクル管理」へ変更す ることが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度と なるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー１の定期的な評価のインプット分類２と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前					
18	制御用空気圧縮機室 給気ファン3A, 3B電動機	機能・性能 試験 分解点検(本 体)	1Y	1C 65M	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	当該装置の点検は、アラーム安全設備等 の運転に影響を及ぼす可能性及び非待 機時間(UA時間)の発生を考慮すると、 アラーム運転中よりも施設定期検査時に実 施することが適切であるため、「年度 管理」から「保全計画管理」へ変更す ることが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度と なるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)		
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更 項目	変更前 3Y	変更後 CBM	インプット 情報の項目 ※	事象の概要		評価内容	4つの 評価項目 ※※
19	排ガスポンプ電動機	分解点検(本体)			⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	平成29年度における分解点検での点検手入れ前データによると、機能に影響を及ぼす劣化は認められなかった。当該機器は、故障時のプラントに対する影響が小さく保全重要度が低い機器(G4)である。 また、屋内に設置されているため劣化の要因が少なく、状態監視にて劣化状況を把握することが可能である。 以上ことから、時間基準保全を取止め、別途実施していた状態監視による状態基準保全としても適切な保守管理が可能であると判断した。	①	—

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前					
20	ディゼール発電機室排 気3A, 3B, 3C, 3D (3D-VS-402A, B, C, D (OP)) ディゼール発電機制御 盤室3A, 3B排気 (3D-VS-403A, B (OP)) ディゼール発電機制御 盤室3A, 3B給気 (3D-VS-404A, B (OP)) 電動補機給水ポン プ室排気3A, 3B (3D-VS-412A, B (OP)) 制御用空気圧縮機室 排気3A, 3B (3D-VS-432A, B (OP)) タービン動補給水ポン プ室排気3A, 3B (3D-VS-414A, B (OP))	ダンパオペレータ 点検 ダンパオペレータ 駆動部分解 点検	6Y 6Y	52M 52M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全計画管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
21	ディゼール発電機室排 気ガンハ 3A, 3B, 3C, 3D (3D-VS-402A, B, C, D) ディゼール発電機制御 室排気ガンハ 3A, 3B (3D-VS-403A, B) 電動補助給水ポン プ排気ガンハ 3A, 3B (3D-VS-412A, B) タービン動補助給水ポン プ室排気ガンハ 3A, 3B (3D-VS-414A, B) 制御用空気圧縮機室 排気ガンハ 3A, 3B (3D-VS-432A, B)	動作確認	6Y	4C	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等 の運転に影響を及ぼす可能性及び非待 機時間(UA時間)の発生を考慮すると、 プラント運転中よりも施設定期検査時に実 施することが適切であるため、「年度 管理」から「保全サイクル管理」へ変更す ることにより適切な保守管理を行うこ とが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度と なるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
22	燃料取扱棟排気第1, 第2隔離ガンパ3号 (3D-VS-252, 253 (OP)) 燃料取扱棟排気第1, 第2隔離ガンパ3号 (3D-VS-254, 255 (OP))	高気密ガンパ ホベレータ点検 高気密ガンパ ホベレータ駆動 部分解点検	2Y 4Y	26M 39M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
23	安全補機開閉器室空 調ファン3A, 3B出口カ ン (3D-YS-534A, B)	外観点検 軸受給脂	12Y 15Y	9C 156M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、ブレード安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性があることから、ブレード運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全サイクル管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付－1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
24	MDPV 電動補助給水 ポンプ 3A, 3B室FDV (3F-VS-411A, B) MDPV 電動補助給水 ポンプ 3A, 3B室防火ガ ン (3F-VS-412A, B) T/D-AFWP室天井第1 防火兼風量調節ガン (3F-VS-413A) T/D-AFWP3号室天井 第2防火兼風量調節 ガン (3F-VS-413B) TDPV T/D-AFWP3号室 第1, 第2防火ガン (3F-VS-414A, B) IAComp-3A, 3B室防火 兼風量調節ガン (3F-VS-431A, B) IACV 制御用空気圧 縮機3A, 3B室防火ガン (3F-VS-432A, B)	外観点検 作動確認	12Y 12Y	9C 9C	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全計画管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	
25	安全補機開閉器室空 調ユニット3A, 3B	開放点検	7Y	65M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、1年度管理」から「保全サイクル管理」へ変更することにより適切な保守管理を行わることが可能であると判断した。なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
26	安全補機開閉器室空 調77/3A, 3B	分解点検	15Y	156M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全サイクル管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前					
27	ディーゼル発電機室給 気7A/3A, 3B, 3C, 3D 電動補助給水ポンプ 室給気7A/3A, 3B クービン動補助給水ポン プ室給気7A/3A, 3B	分解点検	25Y	260M	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全PM管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①

※ : インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
28	制御用空気圧縮機室 給気ファン3A, 3B	分解点検	22Y	22IM	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、ファン安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、ファン運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全サイクル管理」へ変更することが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	

※：インプット情報は添付ー１の定期的な評価のインプット分類２と対応

※※：点検頻度の変更に応じた評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前					
29	ディーゼル発電機室排 気ファン 3A, 3B, 3C, 3D 用電磁弁 (3SV-VS- 402A, B, C, D) ディーゼル発電機制御 盤室排気ファン 3A, 3B 用電磁弁 (3SV-VS-403A, B) ディーゼル発電機制御 盤室排気ファン 3A, 3B 用電磁弁 (3SV-VS-404A, B) 電動補助給水ポンプ 室排気ファン 3A, 3B用 電磁弁 (3SV-VS-412A, B) 制御用空気圧縮機室 排気ファン 3A, 3B用電 磁弁 (3SV-VS-432A, B) クーリング補助給水ポン プ室排気ファン 3A, 3B 用電磁弁 (3SV-VS-414A, B)	電磁弁点検 電磁弁取替	6Y 6Y	52M 52M	③	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該装置の点検は、プラント安全設備等の運転に影響を及ぼす可能性及び非待機時間(UA時間)の発生を考慮すると、プラント運転中よりも施設定期検査時に実施することが適切であるため、「年度管理」から「保全計画管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		変更前	変更後						
30	緊急時対策所加圧装置減圧ユニット安全弁A, B, C, D (3V-KV-706A, B, C, D) 緊急時対策所加圧装置減圧ユニット安全弁(予備) (3V-KV-706-Y)	分解点検 機能・性能 試験 漏えい試験	12Y 12Y 12Y	117M 9C 9C	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画を見直した。	当該の点検に伴い緊急時対策所加圧装置は機能喪失となるため、重大事故等対処活動を考慮すると、施設定期検査時に実施することが適切であることから、「年度管理」から「保全外管理」へ変更することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。 なお、点検頻度については同程度となるように設定する。	①	85 1次系安全弁検査

※：インプット情報は添付－1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
31	二酸化炭素出口安全 弁3号 (3V-CD-293)	取替 機能・性能 試験 漏えい試験	12Y 12Y 12Y	15Y 15Y 15Y	③	平成30年度取替時の点検結果により 点検計画を見直した。	平成30年度取替時の点検結果は良好 であり、また当該弁は周辺設備であり 故障時のアサルトに対する影響が少ないこ とから、15Yの取替(変更前から3Yの延 長)により適切な保守管理を行うことが 可能であると判断した。	①	85 1次系安全弁検査

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容		評価				備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更 項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
32	セント固化装置77ガス 77/3A, 3B	機能・性能 試験 分解点検	CBM CBM	5Y 5Y	④	平成30年4月に発生した不適合の是正 処置として、点検計画を見直した。	設置された平成4年から20年以上、77V の異常は発生しなかつたことから、5Y の分解点検により適切な保守管理を行 うことが可能と判断した。	①	77 1次系換気空調設備検査

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		変更前	変更後						
33	メモリ固化装置アガス ファンユニット3A, 3B	機能・性能 試験	CBM	5Y	⑬	自主的な取り組みとして、点検計画 を見直した。	メモリ固化装置アガスファン3A, 3Bの機能・ 性能試験に合わせて実施しているた め、ファンの機能・性能試験の保全方式変 更に合わせることでより適切な保守管 理を行うことが可能であると判断とし た。	①	77 1次系換気空調設備検査

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び代替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前 変更後					
34	流量調整ユニット (緊急時対策所加圧 装置用) (3V-KV-705)	校正	— 117M	③	校正を新たな保全項目として適用した。	緊急時対策所加圧手順において流量調整弁を操作するために当該流量計の指示値を確認することから、校正(頻度は117M)を新たな保全項目とすることにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断とした。	①	—

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前					
35	非常用ディーゼル機関 3A, 3B 非常用ディーゼル発電 機3A, 3B	振動診断	—	6M	⑬	自主的な取り組みとして、振動診断 を新たな保全項目として適用した。	機関および発電機について、潤滑油 診断および赤外線診断に加え振動診断 (頻度は6M)を適用することにより適切 な保守管理を行うことが可能であると 判断した。	—

※：インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前					変更後	
36	非常用ディゼール機関	機関診断	—	6M	⑬	自主的な取り組みとして、機関診断を新たな保全項目として適用した。	機関の潤滑油診断および赤外線診断に加え機関診断(頻度は6M)を適用することにより適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	⑬	

※ : インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更項目	変更前	変更後					
37	D/G機関3A出口シリンダ冷却水温度指示計(3TI-4304)	単体調整試験	52M	104M	③	第14回施設定期検査にて採取した計器点検前データ及び過去の点検実績等を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点検前データによると、機能に影響を及ぼす劣化は認められなかった。また、計器点検前データが104M相当の期間連続にて許容誤差範囲内を推移することが確認できた。以上ことから、104Mの点検(変更前)から52Mの延長により適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	①	133 非常用予備発電機付属設備検査

※：インプット情報は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更項目	変更前	変更後					
38	体積制御カク水水位伝送器 (3LT-120)	伝送器単体調整試験	52M	104M	③	第14回施設定期検査にて採取した計器点検前データ及び過去の点検実績等を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点検前データによると、機能に影響を及ぼす劣化は認められなかった。 また、計器点検前データが104M相当の期間連続にて許容誤差範囲内を推移することが確認できた。 以上ことから、104Mの点検(変更前)から52Mの延長により適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	①	72 計測制御系監視機能検査

※ : インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更項目	変更前	変更後					
39	格納容器冷却材トリンクの水位伝送器(3LT-1000)	伝送器単体調整試験	52M	26M	③	第14回施設定期検査にて採取した計器点検前データ及び過去の点検実績等を用いて点検計画を見直した。	第14回施設定期検査における計器点検前データで許容誤差を逸脱していることが確認された。また、2定検続けて許容誤差を逸脱していることが確認された。以上のことから、26Mの点検(変更前から26Mの短縮)により適切な保守管理を行うことが可能であると判断した。	①	72 計測制御系監視機能検査

※ : インプット情報は添付1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※ : 点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

No.	系統・機器名	保全計画への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更		インプット 情報の項目 ※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※		
		項目	変更前						変更後
40	前処理室排気ファン	振動診断	—	IM	⑬	自主的な取り組みとして、振動診断を新たな保全項目として適用した。	類似機器(雑固体焼却炉建家排気ファン等)をベンチマークした結果、振動診断(頻度はIM)を適用することが可能であると判断した。	④	—

※：インプット情報は添付ー1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※：点検頻度の変更に適用した評価方法

- ① 点検及び取替結果の評価
- ② 劣化トレンドによる評価
- ③ 研究成果等による評価
- ④ 類似機器等の使用実績による評価

保全活動管理指標

1. プラントレベル(採取期間:平成29(2017)年8月1日～令和元(2019)年9月30日)

指 標	目 標 値	実 績 値
計画外原子炉自動トリップ回数	＜1回/7000臨界時間	0回
計画外出力変動回数	＜2回/7000臨界時間	0回
工学的安全施設の計画外作動回数	＜1回/サイクル	0回

参考

2. 系統レベル (採取期間: MPFF 平成29(2017)年8月1日～令和元(2019)年9月30日、UA時間 平成23(2011)年1月1日～令和元(2019)年9月30日)

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
1次冷却材系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	<1回	0回	-	-	●他の系統に属する原子炉冷却材圧力バウンダリ機器についてはこちらの指標で管理する。
	PS-1②過剰反応度の印加防止機能	<1回	0回	-	-	
	PS-1③炉心形状の維持機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1③原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<1回	0回	0時間	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	-	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2④安全弁・逃がし弁の吹き止まり機能	<1回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	【加圧器逃がし弁】 <1回 【加圧器逃がし弁元弁・加圧器後備弁】 <2回	【加圧器逃がし弁】 0回 【加圧器逃がし弁元弁・加圧器後備弁】 0回	<72時間/各逃がしライン <72時間/各ヒータ系統	0時間/各逃がしライン 0時間/各ヒータ系統	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】※1	<2回	0回	-	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】※1	<2回	0回	-	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】※1	<2回	0回	モータ1～3 <72時間/各逃がしライン モータ4～6 <24時間	モータ1～3 0時間/各逃がしライン モータ4～6 0時間	

※1 要求機能における【LCO】の表記は、クラス3の機能のうち、原子炉施設保安規定の運転上の制限に関連する機能を示す。以下、本表において同様。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(1サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
化学体積制御系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<240時間 両トリン同時0時間	0時間 両トリン同時0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<240時間	0時間	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	冷却材補給機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	安全注入系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<240時間/各トリン 両トリン同時0時間	0時間/Aトリン 7時間53分/Bトリン 両トリン同時0時間
MS-1⑤炉心冷却機能		<1回	0回	<1時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時0時間 <240時間/各トリン 両トリン同時0時間	0時間/各蓄圧タンク タンク2基以上同時0時間 0時間/Aトリン 7時間53分/Bトリン 両トリン同時0時間	
MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】		-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
安全注入系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	アクシデントマネジメント機能【代替再循環】	<2回	0回	<720時間	0時間/各トレイン	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	-	-	
余熱除去系統	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<1回	0回	-	-	
	余熱除去系統への漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	
格納容器サブレイ系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間 <72時間/タンク	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間 0時間/タンク	●消火設備系統のアクシデントマネジメント機能【格納容器消火水スプレイン注水】も含む。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<72時間/タンク	0時間/タンク	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
原子炉格納施設	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	<1回	0回	<4時間/各原子炉格納容器隔離弁<24時間/各エアロック	0時間/各原子炉格納容器隔離弁0時間/各エアロック	●他の系統に属する格納容器バウンダリ機器については、この指標で管理する。
	MS-1⑩放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	
	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3④放射性物質を貯蔵する機能【間接関連系】 【LCO】	<2回	0回	-	-	
	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	
燃料取扱設備	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	0回	-	-	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
燃料取替用水系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<1時間	0時間	
	MS-2①使用済燃料ピットの補給機能	<2回	0回	<720時間	1030時間10分	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
主給水系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<72時間/各ライン	0時間/各ライン	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<72時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<6時間/各安全弁 <8時間/各ライン/隔離 <168時間/各逃がしライン <240時間/各蒸気元弁	0時間/各安全弁 0時間/各ライン/隔離 0時間/各逃がしライン 0時間/各蒸気元弁	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<168時間/各逃がしライン <8時間/各ライン/隔離 <8時間/各逆止弁	0時間/各逃がしライン 0時間/各ライン/隔離 0時間/各逆止弁	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<240時間/各系統 2系統以上 0時間 0時間/タンク	0時間/各系統 2系統以上 0時間 0時間/タンク	
補助給水系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
2次系統水系統	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	0回	<720時間	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
蒸気発生器ブローダウン系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-1⑤放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	0回	<240時間/各ライン	0時間/各ライン	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1④安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<240時間/各ライン 両ライン同時0時間 隔離機能 <240時間	0時間/各ライン 0時間/各ライン 両ライン同時0時間 隔離機能 0時間	●空調用冷水設備系統のアクシデントマネジメント機能【代替補機冷却】も含む。
	MS-2④事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	
	アクシデントマネジメント機能【格納容器自然対流冷却】	<2回	0回	<720時間	0時間	
原子炉補機冷却海水系統	MS-1⑤安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<105時間/各ライン 両ライン同時0時間	0時間/各ライン 0時間/各ライン 両ライン同時0時間	●海水ピットを含む。
気体廃棄物処理系統	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
液体廃棄物処理系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	1次冷却材漏えい率監視機能	<2回	0回	-	-	
原子炉補給水系統(純水)	FS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
原子炉補給水系統(脱塩水)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
制御用空気系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	制御用空気圧縮装置 2台同時 <720時間	制御用空気圧縮装置 2台同時 0時間	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<240時間	0時間	●制御用空気系統のMS-3④原子炉圧力上昇の緩和機能の直接関連系も含む。
所内用空気系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
消火設備系統	アクティブ/パッシブ機能 【格納容器消火スプレイ注水】	<2回	0回	<720時間	0時間	●格納容器スプレイ系統の主配管から、スプレイ系統側の接続配管もこの指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	
格納容器換気空調系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間	0時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[サイクルあたり]	実績値	目標値[サイクルあたり]	実績値	
格納容器換気空調系統	アグンデントマニピュレーション機能 【格納容器自然対流冷却】	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
アニュラス空気浄化系統	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
補助建屋換気空調系統	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各トレイン	0時間/各トレイン	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<1回	0回	DG室、電動補助給水ポンプ 室、制御用空気圧縮機室 <240時間/各トレイン/各室 両トレイン同時 <72時間/各室 タービン補助給水ポンプ室、 安全補機閉器室 両トレイン同時 <72時間/各室	DG室 14時間00分/Aトレイン 14時間30分/Bトレイン 両トレイン同時 6時間01分 電動補助給水ポンプ室 466時間15分/Aトレイン 0時間/Bトレイン 両トレイン同時 0時間 制御用空気圧縮機室 150時間21分/Aトレイン 0時間/Bトレイン 両トレイン同時 0時間 タービン補助給水ポンプ室、安全 補機閉器室 両トレイン同時 0時間/各室	
安全補機室空気浄化系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	0回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 <72時間	0時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<720時間/各トレイン 全トレイン同時 <240時間	0時間/各トレイン 全トレイン同時 0時間	
中央制御室換気空調系統	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	0回	<240時間	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
空調用冷水設備系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1③安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<720時間/各トレイン 全トレイン同時<240時間	340時間26分/ANトレイン 315時間35分/BNトレイン 全トレイン同時0時間	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	0回	<720時間	0時間	
	アクシデントマネジメント機能 【代替補機冷却】	<2回	0回	<720時間	0時間	●原子炉補機冷却水系統の 余熱除去ポンプ3B及び電動機 冷却水出入口系統の主配管か ら、補機冷却水系統側の接続 配管もこの指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
1次系試料採取系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
	FS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
モニタ空気サンプリング系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
格納容器真空遮がし系統	原子炉格納容器真空遮がし機能	<2回	0回	<240時間/系統 2系統同時0時間	0時間/系統 2系統同時0時間	
格納容器水素パーージ系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウンダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	予防可能故障回数(NPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値(サイクルあたり)	実績値	目標値(2サイクルあたり)	実績値	
炉内核計装装置ガスバージ設備 系統	MS-1⑥放射性情質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウナダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウナダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性情質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウナダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウナダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
格納容器漏洩率試験装置系統	MS-1⑥放射性情質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウナダリ】	-	-	-	-	●格納容器バウナダリ機器に ついては、原子炉格納施設の MS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク貯油量 <240時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 <48時間/各系/各基	ディーゼル発電機 50時間30分/A号機 50時間35分/B号機 燃料油サービスタンク貯油量 0時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 0時間/各系/各基	
非常用ディーゼル発電機系統	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク貯油量 <240時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 <48時間/各系/各基	ディーゼル発電機 50時間30分/A号機 50時間35分/B号機 燃料油サービスタンク貯油量 0時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 0時間/各系/各基	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	すべての外部電源が他の回 線に対して独立性を有して いない場合、および動作可 能な外部電源が2回線であ る場合 720時間/系統 動作可能な外部電源が1回 線である場合 240時間 24時間	すべての外部電源が他の回 線に対して独立性を有して いない場合、および動作可 能な外部電源が2回線であ る場合 1732時間40分/系統 動作可能な外部電源が1回 線である場合 0時間 0時間	
外部電源系統	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号 の発生機能	<1回	0回	<6時間/各チャンネル	0時間/各チャンネル	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
メタクラ系統	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な 関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
パワーセンタ系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な 関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
コントロールセンタ系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<8時間/各母線	0時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な 関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[サイクルあたり]	実績値	目標値[サイクルあたり]	実績値	
直流電源装置系統	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	非常用直流母線 <2時間/各母線 蓄電池及び充電器 <128時間/各母線	非常用直流母線 0時間/各母線 蓄電池及び充電器 0時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報を提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<2時間/各母線	0時間/各母線	
計装用電源系統	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0回	<1時間/各トレイン	0時間36分/Aトレイン 1時間17分/Bトレイン 0時間28分/Cトレイン 0時間40分/Dトレイン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
制御棒駆動電源装置系統	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-1①原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	0回	<6時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル <48時間/各手動回路 <6時間/各ロジック盤 <6時間/各シークンズ盤	0時間/各チャンネル 0時間/各インターロックチャンネル 0時間/各手動回路 0時間/各ロジック盤 0時間/各シークンズ盤	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	<6時間/各DGTトレイン <720時間/各M信号トレイン <6時間/各シークンズ盤	0時間/各DGTトレイン 0時間/各M信号トレイン 0時間/各シークンズ盤	
原子炉制御保護装置	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	0回	<240時間/各トレイン	0時間/各トレイン	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<1回	0回	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	0回	<72時間/各シークンズ盤	0時間/各シークンズ盤	
	MS-2⑥運転状態の情報を提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	0回	-	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】	<2回	0回	<72時間/各逃がし弁 モト4～6 <24時間	モト1～3 0時間/各逃がし弁 モト4～6 0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[サイクルあたり]	実績値	目標値[サイクルあたり]	実績値	
原子炉制御保護装置	制御室退避時制御盤への情報伝送機能	<2回	0回	-	-	
制御棒位置指示装置	制御棒位置指示機能	<2回	0回	-	-	
制御棒制御装置	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	制御棒ベング位置表示機能	<2回	0回	-	-	
制御室退避時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	0回	<720時間	0時間	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-1①の原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	0回	<1時間/各インターロックチャンネル <6時間/各チャンネル 0時間/各チャンネル	0時間/各チャンネル 0時間/各インターロックチャンネル	
炉外核計装置	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
	線源領域中性子束指示機能	<2回	0回	-	-	
炉内核計装置	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	<2回	0回	-	-	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	0回	-	-	
放射線監視装置	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	0回	-	-	
	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	<2回	0回	<720時間	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
建屋(原子炉建屋)	MS-1⑥放射放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	●燃料取扱棟のMS-2②放射性物質放出の防止機能も含む。
	MS-1⑥放射放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	0回	-	-	
建屋(原子炉補助建屋)	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	0回	-	-	●中央制御室の遮へい機能。
	電巻、溢水等に対して発電用原子炉施設を防護する機能	<2回	0回	-	-	
防護設備						

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備	0回		多様化自動作動装置(ATWS緩和設備)論理回路 720時間/系統 蒸気発生器水位低 720時間/チャンネル	多様化自動作動装置(ATWS緩和設備)論理回路 0時間/系統 蒸気発生器水位低 0時間/チャンネル	
	1次冷却系統のフイードアンドブリードをするための設備	0回		高圧注入系 240時間/系統 加圧器逃がし弁 72時間/台	高圧注入系 0時間/系統 加圧器逃がし弁 0時間/台	
	炉心注水をするための設備	0回		高圧注入系 全系統同時 0時間 高圧再循環系 全系統同時 0時間 低圧注入系 全系統同時 0時間 低圧再循環系 全系統同時 0時間 充てんポンプ(B,自己冷却式)による代替注水系 720時間 中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系 720時間/系統 代替再循環運転 [格納容器スプレイポンプ 240時間 (B,代替再循環配管使用)による代替再循環系] 代替再循環運転 [格納容器再循環サブB隔離弁・バイパス弁] 72時間 代替再循環運転 [高圧注入ポンプ(B,海水冷却)による高圧再循環系] 240時間	高圧注入系 全系統同時 0時間 高圧再循環系 全系統同時 0時間 低圧注入系 全系統同時 0時間 低圧再循環系 全系統同時 0時間 充てんポンプ(B,自己冷却式)による代替注水系 0時間 中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系 0時間/系統 代替再循環運転 [格納容器スプレイポンプ 0時間 (B,代替再循環配管使用)による代替再循環系] 代替再循環運転 [格納容器再循環サブB隔離弁・バイパス弁] 0時間 代替再循環運転 [高圧注入ポンプ(B,海水冷却)による高圧再循環系] 0時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備	0回	SAクラス2:<11回 SAクラス3:<2回	窒素ポンプ(加圧器逃がし弁用) および加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池を使用した 加圧器逃がし弁による1次冷却材系統の減圧系 240時間/系統	窒素ポンプ(加圧器逃がし弁用) および加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池を使用した 加圧器逃がし弁による1次冷却材系統の減圧系 0時間/系統	
原子炉格納容器スプレイをするための設備		0回	原子炉格納容器スプレイ系 全系統同時 0時間 スプレイ再循環系 全系統同時 0時間 代替原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替原子炉格納容器スプレイ系 720時間	原子炉格納容器スプレイ系 全系統同時 0時間 スプレイ再循環系 全系統同時 0時間 代替原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替原子炉格納容器スプレイ系 0時間		
原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備		0回	原子炉格納容器内自然対流冷却系 720時間 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系 および代替補機冷却系 720時間/系統 2系統同時 240時間	原子炉格納容器内自然対流冷却系 0時間 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系 および代替補機冷却系 0時間/系統 2系統同時 0時間		
2次冷却系からの除熱(注水)をするための設備		0回	電動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 0時間/系統 タービン駆動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 0時間/系統	電動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 0時間/系統 タービン駆動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 0時間/系統		

系統名	要求機能	予防可能故障回数(NPFF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目録値[2/台/年あたり]	実値	目録値[2/台/年あたり]	実値	
重大事故等対処設備	2次冷却系からの除熱(蒸気放出)をするための設備	0回	0回	主蒸気逃がし弁 72時間/個 2個以上同時 24時間	主蒸気逃がし弁 0時間/個 2個以上同時 0時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備	0回	0回	静的触媒式水素再結合装置 格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 720時間	静的触媒式水素再結合装置 0時間/基 格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系 0時間	
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備	0回	0回	アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(窒素)系統 240時間	アニュラス空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(窒素)系統 0時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備	0回	0回	-	-	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	0回	0回	大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型ポンプ車、泡混合器、大型放水砲、底油タンク、ミニローリー 240時間 放射性物質吸着剤、海水ピットシルトフエンス、取水ピットシルトフエンス、放水ピットシルトフエンス、雨水排水溝海洋シルトフエンス、小型船舶 240時間	大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型ポンプ車、泡混合器、大型放水砲、底油タンク、ミニローリー 0時間 放射性物質吸着剤、海水ピットシルトフエンス、取水ピットシルトフエンス、放水ピットシルトフエンス、雨水排水溝海洋シルトフエンス、小型船舶 0時間	
	重大事故等の収束に必要なとなる水の供給設備(補助給水タンクへの補給)	SAクラス2: <11回 SAクラス3: <2回	0回	中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系 240時間 燃料取替用水タンク水量 1時間 補助給水タンク水量 72時間	中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系 0時間 燃料取替用水タンク水量 0時間 補助給水タンク水量 0時間	
	電源設備	0回	0回	空冷式/非常用発電装置からの電源系 240時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器からの電源系 720時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 720時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 720時間 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系 720時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 240時間 重油タンク油量 48時間 軽油タンク油量 72時間 ミニローリー 72時間/台 3台同時 48時間	空冷式/非常用発電装置からの電源系 0時間 300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器からの電源系 0時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 0時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 0時間 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系 0時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 0時間 重油タンク油量 0時間 軽油タンク油量 0時間 ミニローリー 0時間/台 3台同時 0時間	
	計装設備	0回	0回	可搬型計測器 所要数を満足できない状態 720時間	可搬型計測器 所要数を満足できない状態 0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPPF回数)		非待機時間(UA時間)		備考
		目標値[1サイクルあたり]	実績値	目標値[2サイクルあたり]	実績値	
重大事故等対処設備	中央制御室		0回	中央制御室非常用循環系 全系統同時 72時間 中央制御室用可搬型照明, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	中央制御室非常用循環系 全系統同時 0時間 中央制御室用可搬型照明, 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 0時間	
	監視測定設備		0回	—	—	
	緊急時対策所	SAクラス2: <11回 SAクラス3: <2回	0回	緊急時対策用発電機 240時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 240時間 緊急時対策所加圧装置 240時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 240時間	緊急時対策用発電機 0時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 0時間 緊急時対策所加圧装置 0時間 酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 所要数を満足できない状態 0時間	
	通信連絡を行うために必要な設備		0回	240時間	0時間	
	中型ポンプ車		0回	中型ポンプ車 720時間/台 3台以上同時 240時間	中型ポンプ車 0時間/台 3台以上同時 0時間	
	その他設備		0回	240時間	0時間	

添付書類七 前回の施設定期検査申請内容（添付書類三、四、五）
からの変更内容

1. 添付書類三 発電用原子炉及び保守管理の重要度が高い系統について定量的に定める保守管理の目標の変更

別紙 1のとおり

2. 添付書類四 保守管理の実施に関する計画の変更

別紙 2のとおり

3. 添付書類五 定期事業者検査の判定方法の検討

なし

1. 保全活動管理指標

No.	系統名、要求機能	変更理由	該当ページ
1	重大事故等対処設備 2次冷却系からの除熱（注水）をするための設備	UA時間目標値を保安規定の要求される措置の内容に合うように見直し 変更前：電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 0時間／系統 タービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 0時間／系統 変更後：補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 および 補助給水タンクを水源としたタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 両系統が動作不能である場合：0時間	16/18
2	重大事故等対処設備 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	UA時間目標値の対象設備を適正化（軽油タンクおよびミニローリーを削除） 変更前：大型ポンプ車（泡混合機能付）、大型ポンプ車、泡混合器、大型放水砲、軽油タンク、ミニローリー 240時間 変更後：大型ポンプ車（泡混合機能付）、大型ポンプ車、泡混合器、大型放水砲 240時間	17/18
3	重大事故等対処設備 重大事故等の収束に必要となる水の供給設備	要求機能の名称を適正化 変更前：重大事故等の収束に必要となる水の供給設備（補助給水タンクへの補給） 変更後：重大事故等の収束に必要となる水の供給設備	17/18

保全活動管理指標

1. プラントレベル

指標	目標値
計画外原子炉自動トリップ回数	<1回/7000臨界時間
計画外出力変動回数	<2回/7000臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	<1回/サイクル

2. 系統レベル

系統名	要求機能	安全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数)目標値【1サイクルあたり】	非待機時間(UA時間)目標値【2サイクルあたり】	
1次冷却材系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	<1回	-	●他の系統に属する原子炉冷却材圧力バウンダリ機器についてもこの指標で管理する。
	PS-1②過剰反応度の印加防止機能	<1回	-	
	PS-1③炉心形状の維持機能	<1回	-	
	MS-1①原子炉の緊急停止機能	<1回	0時間	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	0時間	
	MS-1③原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	<1回	0時間	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
	MS-1⑤放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2④安全弁・逃がし弁の吹き止まり機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	[加圧器逃がし弁] <1回 [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後備ロー] <2回	<72時間/各逃がしライン <72時間/各ロータ系統	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】※1	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】※1	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】※1	<2回	モード1～3 <72時間/各逃がしライン モード4～6 <24時間	

※1 要求機能における【LCO】の表記は、クラス3の機能のうち、原子炉施設保安規定の運転上の制限に関連する機能を示す。以下、本表において同様。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
化学体積制御系統	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<240時間 両トリン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<2回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
	冷却材補給機能	<2回	<720時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	安全注入系統	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<240時間/各トリン 両トリン同時 0時間
MS-1⑥炉心冷却機能		<1回	<1時間/各蓋圧タカ タカ2基以上同時 0時間 <240時間/各トリン 両トリン同時 0時間	
MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】		-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	安全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPFF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
安全注入系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各ライン 両ライン同時 0時間	
	アクシデントマネジメント機能 【代替循環】	<2回	<720時間	
	PS-1①原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	-	-	●原子炉冷却材圧力バウンダリ機器については、1次冷却材系統のPS-1①指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	-	
余熱除去系統	MS-1⑤炉心冷却機能	<1回	<240時間/各ライン 両ライン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	PS-2①原子炉冷却材を内蔵する機能	<1回	-	
	余熱除去系統への漏えい監視機能	<2回	-	
格納容器スプレイ系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各ライン 両ライン同時 0時間 <72時間/タンク	●消火設備系統のアクシデントマネジメント機能【格納容器消火スプレイ注水】を含む。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/タンク	

系統名	要求機能	安全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
原子炉格納施設	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	<1回	<4時間/各原子炉格納容器隔離弁 <24時間/各エアロック	●他の系統に属する格納容器バウンダリ機器に ついては、この指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	-	
	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
	PS-3③放射線物質を貯蔵する機能【間接関連系】 【LCO】	<2回	-	
燃料取扱設備	PS-2②放射線物質を貯蔵する機能	<2回	-	
	PS-2③燃料を安全に取り扱う機能	<2回	-	
	MS-2②放射線物質放出の防止機能	<2回	-	
	MS-1②未臨界維持機能	<1回	<1時間	
	MS-1⑥炉心冷却機能	<1回	<1時間	
燃料取替用水系統	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器 バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉 格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい 及び放出低減機能	<1回	<1時間	
	MS-2①使用済燃料ピットの補給機能	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2サイクルあたり)	
主給水系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<72時間/各ライン	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<72時間/各ライン	
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<6時間/各安全弁 <8時間/各ライン隔離 <168時間/各逃がしライン <240時間/各蒸気弁弁	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<168時間/各逃がしライン <8時間/各ライン隔離 <8時間/各逆止弁	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<240時間/各系統 2系統以上 0時間 <168時間/タンク	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間/各ライン	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	原子炉停止後の除熱機能の代替機能	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2サイクルあたり)	
蒸気発生器ブローダウン系統	MS-1④原子炉停止後の除熱機能	<1回	<240時間/各ライン	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2④異常状態の緩和機能	<2回	<240時間/各ライン	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	<2回	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<240時間/各ライン 両ライン同時0時間 隔離機能<240時間	●空調用冷水設備系統のアクシデントマネジメント機能【代替補機冷却】も含む。
原子炉補機冷却水系統	MS-2②事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	PS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
	蒸気発生器細管漏えい監視機能	<2回	-	
	アクシデントマネジメント機能【格納容器自然対流冷却】	<2回	<720時間	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<105時間/各ライン 両ライン同時0時間	●海水ピットを含む。
	PS-2②放射性物質を貯蔵する機能	<2回	-	
原子炉補機冷却海水系統				
気体廃棄物処理系統				

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
液体廃棄物処理系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	1次冷却材漏えい率監視機能	<2回	-	
原子炉補給水系統(純水)	FS-3②原子炉冷却材の循環機能【LCO】	<2回	-	
原子炉補給水系統(脱塩水)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
制御用空気系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	制御用空気圧縮装置 2台同時 <72時間	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<240時間	●制御用空気系統のMS-3④原子炉圧力上昇の緩和機能の直接関連系も含む。
所内用空気系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	
消火設備系統	アクティブマネジメント機能 【格納容器消火スプレイ注水】	<2回	<720時間	●格納容器スプレイ系統の主配管から、スライ系統側の接続配管もこの指標で管理する。
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器換気空調系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線への遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

システム名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値【1ヶ月前あたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【2ヶ月前あたり】	
格納容器換気空調系統	アグンデントマネジメント機能 【格納容器自然対流冷却】	<2回	<720時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
アニュラス空気浄化系統	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 0時間	
補助建屋換気空調系統	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トレイン	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<1回	DG室、電動補助給水ポンプ室、制御用空気圧縮機室 <240時間/各トレイン/各室 両トレイン同時 <72時間/各室 タービン動補助給水ポンプ室、安全補機閉閉器室 両トレイン同時 <72時間/各室	
安全補機室空気浄化系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	<240時間/各トレイン 両トレイン同時 <72時間	
	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<720時間/各トレイン 全トレイン同時 <240時間	
中央制御室換気空調系統	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	<240時間	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
空調用冷水設備系統	MS-1⑧安全上特に重要な関連機能	<1回	<720時間/各トレイン 全トレイン同時 <240時間	
	MS-2安全上特に重要な関連機能【間接関連系】	<2回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値【1サイクルあたり】	非待機時間(UA時間) 目標値【2サイクルあたり】	
空調用冷水設備系統	アクトメントマネジメント機能 【代替補機冷却】	<2回	<720時間	●原子炉補機冷却水系統の余熱除去ポンプ3B及び電動機冷却水出入口系統の主配管から、補機冷却水系統側の接続配管もこの指標で管理する。
格納容器減圧バージ系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
1次系統材料採取系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	PS-3①原子炉冷却材保持機能【LCO】	<2回	-	
モニタ空気サンプリング系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器真空逃がし系統	原子炉格納容器真空逃がし機能	<2回	<240時間/系統 2系統同時 0時間	
格納容器水素バージ系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
炉内核計装置ガススペース設備系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。
格納容器漏洩率試験装置系統	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能【原子炉格納容器バウンダリ】	-	-	●格納容器バウンダリ機器については、原子炉格納施設のMS-1⑥指標で管理する。

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2サイクルあたり)	
非常用ディーゼル発電機系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	ディーゼル発電機 燃料油カーブタンク貯油量 <240時間/各基 燃料油・潤滑油・始動用空気 <48時間/各系/各基	
外部電源系統	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	すべての外部電源が他の回線に対して独立性を有していない場合、および動作可能な外部電源が2回線である場合 720時間/系統 240時間 動作可能な外部電源が1回線である場合 24時間 全ての外部電源が動作不能	
メタケラ系統	MS-1①原子炉停止系・工学的的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル	
	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	
パワーセンタ系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
コントロールセンタ系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	<8時間/各母線	
直流電源装置系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	非常用直流母線 <2時間/各母線 蓄電池及び充電器 <128時間/各母線	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
計装用電源系統	MS-1⑩安全上特に重要な関連機能	<1回	<2時間/各母線	
	PS-3④電源供給機能[LCO]	<2回	-	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値(1回/1ヶ月あたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(2回/1ヶ月あたり)	
制御棒駆動電源装置系統	MS-1⑩原子炉の緊急停止機能	<1回	<1時間/各トリップ	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<2回	-	
	PS-3④電源供給機能【LCO】	<2回	-	
	MS-1①原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	<1回	<6時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル <48時間/各手動回路 <6時間/各ロツツ盤 <6時間/各シーケンス盤	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	<6時間/各DCトリップ <720時間/各M信号トリップ <6時間/各シーケンス盤	
	MS-2②放射性物質放出の防止機能	<2回	<240時間/各トリップ	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	<1回	-	
	MS-2④異常状態の緩和機能	<1回	<72時間/各シーケンス盤	
	MS-2⑥運転状態の情報提供機能(安全上特に重要な関連機能【間接関連系】)	<2回	-	
	MS-3①原子炉圧力上昇の緩和機能【LCO】	<2回	モード1~3 <72時間/各逃がし弁 モード4~6 <24時間	
原子炉制御保護装置	制御室退避時制御盤への情報伝送機能	<2回	-	
	制御棒位置指示機能	<2回	-	

系統名	要求機能	安全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(1サイクルあたり)	
制御棒制御装置	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	②回	-	
	制御棒ベンク位置表示機能	②回	-	
制御室退避時制御盤	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	②回	<720時間	
	MS-3④緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能【LCO】	②回	-	
炉外核計装置	MS-1⑦原子炉停止系・工学的安全施設への作動信号の発生機能	①回	<6時間/各チャンネル <1時間/各インターロックチャンネル	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	②回	-	
	線源領域中性子束指示機能	②回	-	
炉内核計装置	PS-3⑤プラント計測・制御機能【LCO】	②回	-	
	MS-2③事故時のプラント状態の把握機能	②回	-	
放射線監視装置	蒸気発生器卸管漏えい監視機能	②回	-	
	MS-2⑤制御室外からの安全停止機能	②回	<720時間	

系統名	要求機能	保全活動管理指標目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPFF回数) 目標値(1サイクルあたり)	非待機時間(UA時間) 目標値(1サイクルあたり)	
建屋(原子炉建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	●燃料取扱棟のMS-2②放射性物質放出の防止機能も含む。
建屋(原子炉補助建屋)	MS-1⑥放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能	<1回	-	
	MS-1⑥安全上特に重要な関連機能	<1回	-	●中央制御室の遮へい機能。
防護設備	竜巻、溢水等に対して発電用原子炉施設を防護する機能	<2回	-	

系統名	要求機能	安全活動管理措置目標値		備考
		予防可能故障回数(MRPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備		多様化自動作動装置(ATWS) 緩和設備)論理回路 720時間/系統 蒸気発生器水位低 720時間/チャンネル	
	1次冷却系統のファイアードアンドブリードをするための設備		高圧注入系 240時間/系統 加圧器逃がし弁 72時間/台	
	炉心注水をするための設備		高圧注入系 全系統同時 0時間 高圧再循環系 全系統同時 0時間 低圧注入系 全系統同時 0時間 低圧再循環系 全系統同時 0時間 充てんポンプ(B, 自己冷却式)による代替注水系 720時間 中型ポンプ車および加圧ポンプ車による代替炉心注水系 720時間/系統 代替再循環運転 [格納容器スプレイポンプ (B, 代替再循環配管使用)による代替再循環系] 240時間 代替再循環運転 [格納容器再循環サブ隔離弁バイパス弁] 72時間 代替再循環運転 [高圧注入ポンプ(B, 海水冷却)による高圧再循環系] 240時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備		蒸気ポンプ(加圧器逃がし弁用) および加圧器逃がし弁用可搬型蓄電池を使用した 加圧器逃がし弁による1次冷却材系統の減圧系 240時間/系統	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備		原子炉格納容器スプレイ系 全系統同時 0時間 スプレイ再循環系 全系統同時 0時間 代替原子炉格納容器スプレイポンプによる 代替原子炉格納容器スプレイ系 720時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備		原子炉格納容器内自然対流冷却系 720時間 中型ポンプ車による原子炉格納容器内自然対流冷却系 および代替補機冷却系 720時間/系統 2系統同時 240時間	
	2次冷却系からの除熱(注水)をするための設備		電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 0時間/系統 タービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への給水系 0時間/系統 補助給水タンクを水源とした電動補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 および 補助給水タンクを水源としたタービン補助給水ポンプによる 蒸気発生器への給水系 両系統が動作不能である場合: 0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数(MPFF回数) 目標値(1サイクあたり)	保全活動管理目標値 非待機時間(UA時間) 目標値(2サイクルあたり)	備考	
<p>2次冷却系からの除熱(蒸気放出)をするための設備</p> <p>水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> <p>水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備</p> <p>使用済燃料ピットの冷却等のための設備</p>			<p>主蒸気速がし弁 72時間/個 2個以上同時 24時間</p>		
	<p>格納容器水素濃度計測装置等による水素濃度監視系</p>			<p>72時間/基</p>	
				<p>アミノラス/空気浄化系 0時間/全系統同時 代替空気(窒素)系統 240時間</p>	
	<p>大型ポンプ車(泡混合機能付)、大型ポンプ車、泡混合器、大型放水砲、軽油タンク、ミネローラー</p> <p>海水ピットシルトフエンス、取水ピットシルトフエンス、放水ピットシルトフエンス、雨水排水溝海洋シルトフエンス、小型船舶</p>			<p>240時間</p>	
<p>重大事故等の収束に必要な水の供給設備 軽油タンク、ミネローラー</p>		<p>SAクラフス2: <1回 SAクラフス3: <2回</p>	<p>中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給系 240時間 燃料取替用水タンク水量 1時間 補助給水タンク水量 72時間</p>		
<p>電源設備</p>			<p>300kVA電源車および300kVA電源車用変圧器からの電源系 240時間 720時間 蓄電池(非常用) 全系統同時 720時間 蓄電池(重大事故等対処用) 全系統同時 720時間 可搬型直流電源装置(75kVA電源車および可搬型整流器)からの電源系 720時間/系統 代替所内電気設備からの給電系 240時間 重油タンク油量 48時間 軽油タンク油量 72時間 ミネローラー 72時間/台 3台同時 48時間</p>		
<p>計装設備</p>			<p>可搬型計測器 所要数を満足できない状態 720時間</p>		

系統名	要求機能	保全活動管理措置目標値		備考
		予防可能故障回数(MPPF回数) 目標値[1サイクルあたり]	非待機時間(UA時間) 目標値[2サイクルあたり]	
重大事故等対処設備	中央制御室		中央制御室非常用循環系 全系統同時 72時間 中央制御室用可搬型照明、 酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 所警数を満足できない状態 240時間	
	監視測定設備		-	
	緊急時対策所	SAクラス2:<1回 SAクラス3:<2回	緊急時対策用発電機 240時間/台 緊急時対策所空気浄化系 全系統同時 240時間 緊急時対策所加圧装置 240時間 酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 所警数を満足できない状態 240時間	
	通信連絡を行うために必要な設備		240時間	
	中型ポンプ車		中型ポンプ車 720時間/台 3台以上同時 240時間	
	その他設備		240時間	

1. 点検計画 設計基準事故対応設備等

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	燃料取替クレーン3号 燃料移送装置(FH/B側)、(C/V側) 新燃料エレベータ 使用済燃料ピットポンプ 3A、3B 燃料取替用水タンクポンプ 3A、3B 1次冷却材ポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機 余熱除去ポンプ 3A、3B 高圧注入ポンプ 3A、3B 充てんポンプ 3A、3B、3C 充てんポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機 原子炉補機冷却水ポンプ 3A、3B、3C、3D 原子炉補機冷却水ポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機、3D電動機 海水ポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機、3D電動機 復水ポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機 復水器真空ポンプ 3A、3B 循環水ポンプ 3A、3B 循環水ポンプ 3A電動機、3B電動機 タービン動補助給水ポンプ 3号 電動補助給水ポンプ 3A、3B 復水ブーストポンプ 3A、3B、3C 給水ブーストポンプ 3A電動機、3B電動機、3C電動機 電動主給水ポンプ 3号 タービン動主給水ポンプ 3A、3B 制御棒駆動用電源M-ゲット3A発電機、3B発電機 ほう酸ポンプ 3A、3B 1次系補給水ポンプ 3A、3B 制御用空気圧縮機3A、3B ガス圧縮装置 水素再結合ガス圧縮装置 モータポンプ 3A、3B ほう酸回収装置給水ポンプ 3A、3B 廃液蒸留水ポンプ 3A、3B 洗浄排水ポンプ 3A、3B 洗浄排水モータポンプ 3A、3B 格納容器冷却材トレンポンプ 3A、3B 廃液給水ポンプ 3A、3B 格納容器再循環ファン3A電動機、3B電動機、3C電動機、3D電動機 格納容器スプレイポンプ 3A、3B ティーセル発電機附属設備 一式 消火ポンプ 3Bティセルエンジン	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更)	6 7 8 10 11 14 15 19 25 26 27 28 31 34 35 38 39 40 42 43 44 45 48 49 62 67 69 /112
2	1次冷却材ポンプ 3A、3B、3C 主蒸気逃がし弁3A、3B、3C 主蒸気ダンプ弁3A、3B、3C、3D、3E、3F、3G、3H 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他設備]その他の弁 一式	記載の適正化 (プラント運転中にローテーション部品を点検しているため、「一部プラント運転中」を追加)	10 11 13 14 37 38 /112
3	余熱除去ポンプ 3A電動機、3B電動機 電動補助給水ポンプ 3A電動機、3B電動機 格納容器スプレイポンプ 3A電動機、3B電動機	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更) 設備診断計画の見直し (有効性評価の結果、潤滑油診断の頻度を変更 (1C→2C))	14 15 34 62 /112
4	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] その他機器 一式	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更) 設備診断計画の見直し (有効性評価の結果、蒸気発生器水張ポンプ電動機の潤滑油診断の頻度を変更 (1C→2C))	36/112

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
5	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他機器 一式	試験頻度の見直し (有効性評価の結果、単体調整試験の頻度を変更 (26M→52M))	40/112
6	補助建屋サブタンクポンプ 3A、3B	設備診断計画の見直し (類似機器のベンチマーキングの結果、振動診断を追加)	45/112
7	補助建屋排気ファン3A、3B、3C	設備診断計画の見直し (類似機器のベンチマーキングの結果、赤外線診断を追加)	49 50 /112
8	補助建屋排気ファン3A電動機、3B電動機、3C電動機	点検頻度の見直し (点検頻度を絶縁特性試験 (3Y) の倍数 (7Y→6Y)) に変更)	49 50 /112
9	セメント固化装置オフガスファン3A、3B	点検頻度の見直し (不適合の是正処置として、点検頻度を変更 (CBM→5Y)) 設備診断計画の見直し (CBMからTBMへの変更により振動診断及び赤外線診断を取り止め) 記載の適正化 (CBMからTBMへの変更により「分解点検に合わせて実施」の記載を削除)	51/112
10	換気空調設備のその他のファン 一式	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、年度管理からサイクル管理に変更)	52/112
11	セメント固化装置オフガスフィルタユニット3A、3B	点検頻度の見直し (セメント固化装置オフガスの点検頻度の変更に伴い点検頻度を変更 (B→5Y))	53/112
12	クラス3機器 (供用期間中検査対象) 一式 (重大事故等クラス3機器供用期間中検査対象を含む)	記載の適正化 (重大事故等対処設備の項と重複記載のため削除)	65/112
13	非常用ディーゼル発電機3A、3B	設備診断計画の見直し (設備の信頼性向上のため、振動診断を追加)	66/112
14	非常用ディーゼル機関3A、3B	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更) 設備診断計画の見直し (設備の信頼性向上のため、振動診断およびディーゼル機関診断を追加)	66 67 /112
15	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) [非常用発電装置] その他機器 一式	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、点検頻度を変更 (52M→104M))	67/112
16	その他発電用原子炉の附属施設 (火災防護設備) [その他設備] その他機器 一式	記載の適正化 (プラント運転中に点検している機器があるため、「一部プラント運転中」を追加)	70/112
17	貫通部止水処置	記載の適正化 (定検停止中に点検している機器があるため、「定検停止中」を追加)	70/112
18	諸機器	D/G二酸化炭素消火設備の廃止に伴い削除 (G3, G4→G4)	71/112

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	使用済燃料ヒート監視カメラ(可搬型の使用済燃料ヒート監視カメラ冷却設備を含む。) 一式	記載の適正化 (新規基準施行に関する技術基準条項の適用について再整理した結果を反映)	72/112
2	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 弁 一式	記載の適正化 (誤記修正)	75/112
3	緊急時対策所加圧装置機器 一式	点検頻度の見直し (有効性評価の結果、年度管理からサイクル管理に変更)	77/112
4	代替格納容器スプレッド3号	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更)	78/112

3. 点検計画 1, 2, 3号機共用設備

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	前処理室排気ファン	設備診断計画の見直し (軸受部の異常は、振動診断で検知可能であるため、赤外線診断を振動診断に変更)	86/112
2	前処理室排気ファン電動機 焼却炉建家給気ファンA、B 焼却炉建家給気ファンA電動機、B電動機 焼却炉建家排気ファンA、B、C 焼却炉建家排気ファンA電動機、B電動機、C電動機 高圧圧縮棟給気ファンA電動機、B電動機 高圧圧縮棟排気ファンA電動機、B電動機	設備診断計画の見直し (軸受部の異常は、振動診断で検知可能であるため、赤外線診断を取り止め)	86 87 88 /112
3	変圧器設備 一式	点検頻度の見直し (2号廃炉決定を受け、サイクル管理から年度管理に変更)	89/112
4	ディーゼル駆動消火ポンプディーゼルエンジン	記載の適正化 (油分析の記載を正式名称である潤滑油診断に変更)	90/112

4. 施設定期検査時の安全管理の計画

No.	実施数 (機器名)	変更理由	該当ページ
1	放射性物質格納機能 第82条の2 原子炉格納容器貫通部 モード5,6	保安規定の改正による要求内容の変更	93/112
2	炉心冷却機能 第33条計測および制御設備 (工学的安全施設等作動計装) モード3 モード3 (P-11未満) (全主蒸気隔離弁が閉じている場合を除く) モード3 (主給水隔離弁, 主給水制御弁および主給水バypass制御弁が閉止または隔離されている場合を除く)	記載の適正化 (要求内容を保安規定の表現に変更)	96/112
3	電源供給 第33条計測および制御設備 (非常用ディーゼル発電機起動計装) モード3 モード3 (P-11以上)	記載の適正化 (対象外モードの削除および条件付きモードへの変更)	98/112
4	制御用空気系 第68条制御用空気系 モード3,4	記載の適正化 (対象モードの追記)	100/112
5	その他 第33条計測および制御設備 (中央制御室換気系隔離計装) モード3,4および使用済燃料ピットでの照射済燃料移動中	記載の適正化 (要求モードを保安規定の表現に変更)	100/112
6	重大事故等対処設備 第84条 (表84-4-6) 代替再循環運転 - 高圧注入ポンプ (B, 海水冷却) による高圧再循環および格納容器再循環ユニットによる格納容器内冷却 - モード3,4,5および6	記載の適正化 (要求内容を保安規定の表現に変更)	103/112
7	重大事故等対処設備 第84条 (表84-8-1) 2次冷却系からの除熱 (注水) モード3,4および5 (1次冷却系満水)	記載の適正化 (対象外モードの削除)	103/112
8	重大事故等対処設備 第84条 (表84-16-1) 計装設備 モード3,4,5および6	記載の適正化 (要求内容を保安規定の表現に変更および関連設備の誤記訂正)	108 109 /112

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉本体 〔炉心〕	照射済燃料集合体	※1一式 外観点検	G3	IC	2 燃料集合体外観検査	※1 炉心設計による ※2 燃料集合体の不具合により計画
		外観点検		IC	700 燃料集合体外観検査 ※2	
	照射済燃料集合体(取出し燃料)	※1一式 外観点検	G3	IC	81 燃料集合体外観検査(取出し燃料)	※炉心設計による
	1.燃料集合体	157体 外観点検	G3	IC	3 燃料集合体炉内配置検査	※炉心設計による
	2.内挿物	48体 ※1一式 ※2一式 ※3一式 ※4一式				
	(1)制御棒クランプ					
	(2)バーナアルボイスン					
	(3)アラキングアブレイス					
	(4)2次中性子源					
	原子炉本体のうち炉心		機能・性能試験	G3	IC	4 原子炉停止余裕検査
		機能・性能試験		IC	80 炉物理検査	定検起動後
原子炉容器		開放点検	G1	13M		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱設備〕	燃料取扱クレーン3号	1台	G3	IC	36 燃料取扱装置機能検査	(油分・揮発油診断:2C)
			G3	IC	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
			G3	IC		
			G3	IC	36 燃料取扱装置機能検査	
	使用済燃料ピットクレーン3号	1台	G3	IC	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
			G3	1Y		プラント運転中
			G3	IC	74 燃料取扱設備検査	プラント運転中
			G3	IC	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
			G3	1Y		プラント運転中
			G3	IC	36 燃料取扱装置機能検査	(油分・揮発油診断:2C)
燃料移送装置(FH/B側)	1台	機能・性能試験	G3	IC	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		機能・性能試験		IC		
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y		プラント運転中
		機能・性能試験	G3	IC	36 燃料取扱装置機能検査	(油分・揮発油診断:2C)
		機能・性能試験	G3	IC	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	プラント運転中
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	燃料移送装置(C/V側)	1台 機能・性能試験	G3	1C	36 燃料取扱装置機能検査	(油分率潤滑油診断:2C)	
	新燃料エレベータ	機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C			
		機能・性能試験	G3	1C	74 燃料取扱設備検査	フロント運転中 (油分率潤滑油診断:2C)	
	燃料仮置ラック	機能・性能試験	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中	
		簡易点検(点検手入れ)	G3	1C		フロント運転中	
	新燃料取扱工具	外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
		1台 外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	フロント運転中	
		1台 機能・性能試験	G3	1C		フロント運転中	
	新制御棒クラスプ取扱工具	1台 外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
		3台 外観点検	G3	1C	94 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	一部フロント運転中	
		機能・性能試験 他	G3	1C		一部フロント運転中	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料貯蔵設備]	新燃料貯蔵庫(ラック)	外観点検	G3	1C		フロント運転中
		使用済燃料ピット浄化冷却設備	機能・性能試験	G3, G4	1C	75 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)
分解点検			G3	130M		(振動診断: 1M)	
使用済燃料ピットポンプ3A		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)	
		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M)	
使用済燃料ピットポンプ3A電動機		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)	
		分解点検	G3	130M		(振動診断: 1M)	
使用済燃料ピット脱塩塔7IN/3A		開放点検	G4	130M			
		開放点検	G4	130M			
使用済燃料ピット脱塩塔7IN/3B		開放点検	G4	130M			
	開放点検	G4	130M				
使用済燃料ピット冷却器3A	開放点検	G3	195M		91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		390M		91 1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備]	使用済燃料ヒート冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査		
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査		
		開放点検	G3	130M			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他の弁一式	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] その他機器一式	分解点検 他	G3,G4	144M~180M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	一部プラント運転中
			単体調整試験 他	G4	13M		
			機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水タンクポンプ3A]	燃料取替用水タンクポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M		
			機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
			分解点検		78M		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水タンクポンプ3B]	燃料取替用水タンクポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1M)
			分解点検		130M		
			機能・性能試験	G3	6C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他の弁一式	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 [燃料取替用水設備] その他機器一式	開放点検	G3	78M		
			分解点検 他	G3,G4	130M~156M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	
			開放点検 他	G3	195M~390M		
原子炉冷却系統施設 [二次冷却材の循環設	蒸気発生器3A	開放点検(1次側マニホール)	G1	26M			
		増締め(1次側マニホール)		13M			
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本	
		開放点検(2次側マニホール)		65M			
		開放点検(2次側マニホール)		39M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
蒸気発生器3B		開放点検(1次側マンホール)	G1	26M		
		増締め(1次側マンホール)		13M		
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M		
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M		
		開放点検(1次側マンホール)		26M		
蒸気発生器3C		開放点検(1次側マンホール)	G1	26M		
		増締め(1次側マンホール)		13M		
		非破壊試験		26M	6 蒸気発生器伝熱管体積検査	伝熱管数:3,382本
		開放点検(2次側マンホール)		65M		
		開放点検(2次側ハンドホール)		39M		
		機能・性能試験		IC	8 加圧器安全弁機能検査	
加圧器安全弁3A	3V-RC-055	分解点検	G3	13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		IC	9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		IC	8 加圧器安全弁機能検査	
加圧器安全弁3B	3V-RC-056	分解点検	G3	13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		IC	9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		IC	8 加圧器安全弁機能検査	
加圧器安全弁3C	3V-RC-057	分解点検	G3	13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		IC	9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		IC	8 加圧器安全弁機能検査	
加圧器逃がし弁3A	3PCV-452A	分解点検	G3	13M	10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		IC	9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		IC	11 加圧器逃がし弁機能検査	
		分解点検(弁本体)	G3	26M	13 加圧器逃がし弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		26M		
		漏えい試験		IC	12 加圧器逃がし弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
加圧器逃がし弁3B	3PCV-452B	機能・性能試験	G3	IC	11 加圧器逃がし弁機能検査		
		分解点検(弁本体)			13 加圧器逃がし弁分解検査		
		分解点検(駆動部)			26M		
		漏えい試験			12 加圧器逃がし弁漏えい検査		
	3V-RC-054A	機能・性能試験	G3	IC	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		分解点検(弁本体)			130M		
		分解点検(駆動部)			130M		
		分解点検(電動機)			195M		
	3V-RC-054B	機能・性能試験	G3	IC	14 加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		分解点検(弁本体)			130M		
		分解点検(駆動部)			130M		
		分解点検(電動機)			195M		
	1次冷却材ポンプ3A	1次冷却材ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G1	IC	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
			分解点検			130M	
軸封部点検			13M				
分解点検			39M				
1次冷却材ポンプ3B	1次冷却材ポンプ3B電動機	非破壊試験(フライホイール)	G1	130M	90 1次冷却材ポンプカニカニール分解検査	一部アンプト運転中 (振動診断:1M、1C、油診断:1C)	
		機能・性能試験			92 1次冷却材ポンプ機能検査		一部定検起動後
		分解点検			10YP		
		軸封部点検			13M		90 1次冷却材ポンプカニカニール分解検査
1次冷却材ポンプ3B	1次冷却材ポンプ3B電動機	分解点検	G1	39M		(振動診断:1M、1C、油診断:1C)	
		非破壊試験(フライホイール)					130M

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 〔主蒸気・主給水設備〕	1次冷却材ポンプ3C	機能・性能試験	G1	IC	92 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
		分解点検		130M			
		軸封部点検		13M	90 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部アラート運転中	
	1次冷却材ポンプ3C電動機	分解点検	G1	39M			(稼動診断:1M、1C、油診断:潤滑油診断:1C)
		非破壊試験(フライホイール)		130M			
	加圧器3号	開放点検	G3	39M			
		マンホール増締め		13M			
	原子炉冷却系統施設 〔1次冷却材の循環設備〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3	13M～156M		84 1次系弁検査	
		分解点検 他	G1～G3	13M～325M		34 安全保護系設定値確認検査 35アラート状態監視設備機能検査	
	主蒸気安全弁3A1	3V-MS-521A	機能・性能試験	G3	IC	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M		
			漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
機能・性能試験			G3	IC	25 主蒸気安全弁機能検査		
主蒸気安全弁3B1	3V-MS-521B	分解点検		26M			
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
主蒸気安全弁3C1	3V-MS-521C	機能・性能試験	G3	IC	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験	G3	IC	25 主蒸気安全弁機能検査		
主蒸気安全弁3A2	3V-MS-522A	分解点検		26M			
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査		
		機能・性能試験	G3	IC	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
主蒸気安全弁3B2	3V-MS-522B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3C2	3V-MS-522C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3A3	3V-MS-523A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3B3	3V-MS-523B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3C3	3V-MS-523C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3A4	3V-MS-524A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
主蒸気安全弁3B4	3V-MS-524B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M		
		漏えい試験		2C	26 主蒸気安全弁漏えい検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
主蒸気安全弁3C4	3V-MS-524C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C			
	主蒸気安全弁3A5	3V-MS-525A	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査	
			分解点検		26M		
			漏えい試験		2C		
主蒸気安全弁3B5	3V-MS-525B	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C			
主蒸気安全弁3C5	3V-MS-525C	機能・性能試験	G3	1C	25 主蒸気安全弁機能検査		
		分解点検		26M			
		漏えい試験		2C			
主蒸気逃がし弁3A	3PCV-465	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部フラット運転中	
		分解点検(弁本体)		13M			
		分解点検(駆動部)		52M			
	主蒸気逃がし弁3B	3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部フラット運転中
			分解点検(弁本体)		13M		
			分解点検(駆動部)		52M		
主蒸気逃がし弁3C	3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		分解点検(弁本体)		13M			
		分解点検(駆動部)		52M			
主蒸気逃がし弁3D	3PCV-475	機能・性能試験	G3	1C	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査		
		分解点検(弁本体)		13M			
		分解点検(駆動部)		52M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕		
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	主蒸気逃がし弁3C	機能・性能試験	G3	IC	27 主蒸気逃がし弁機能検査 148 最終ヒートシフト熱輸送設備作動検査	一部アラーム運転中		
		分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査			
		分解点検(駆動部)		52M				
		漏えい試験		IC	28 主蒸気逃がし弁漏えい検査			
	主蒸気隔離弁3A	3V-MS-528A	機能・性能試験	G3	IC	29 主蒸気隔離弁機能検査		
			分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査		
			分解点検(駆動部)		26M			
			機能・性能試験		IC	29 主蒸気隔離弁機能検査		
	主蒸気隔離弁3B	3V-MS-528B	機能・性能試験	G3	IC	29 主蒸気隔離弁機能検査		
			分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査		
分解点検(駆動部)			26M					
機能・性能試験			IC		29 主蒸気隔離弁機能検査			
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁一式 原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器一式 余熱除去ポンプ3A	主蒸気隔離弁3C	機能・性能試験	G3	IC	29 主蒸気隔離弁機能検査			
		分解点検(弁本体)		26M	122 2次系弁検査			
		分解点検(駆動部)		26M				
		分解点検 他		13M~ 195M	122 2次系弁検査			
	原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他機器一式	単体調整試験 他	単体調整試験 他	G2	13M			
					機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査
	余熱除去ポンプ3A電動機	3V-MS-528C	機能・性能試験	G3	130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
			分解点検					
			機能・性能試験		G3	12C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分計+IC潤滑油診断:2C, 赤外線診断:1C)
			分解点検		156M			
		潤滑油入替		26M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕	
余熱除去ポンプ3B	余熱除去ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:IM,油分析潤滑油診断:2C,赤外線診断:1C)	
		分解点検		130M	19 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (低圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査		
		機能・性能試験	G3	12C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:IM,油分析+IC潤滑油診断:2C,赤外線診断:1C)	
	余熱除去ポンプ3B電動機	分解点検		156M			
		潤滑油入替		26M			
		分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	ループ3C余熱除去系第2入口弁	ループ3C余熱除去系第2入口弁	機能・性能試験		130M		
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
		ループ3B余熱除去系第2入口弁	機能・性能試験	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
余熱除去ポンプ3A再循環ポンプRWST側入口弁	余熱除去ポンプ3A再循環ポンプRWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体・電動機の分解点検に合わせて実施	
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
	余熱除去ポンプ3A再循環ポンプRWST側入口弁	機能・性能試験		130M			
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	余熱除去ポンプ3B再循環サブ・RWST側入口弁	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-RH-040A 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-RH-040B 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-RH-044A 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	3V-RH-044A 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	3V-RH-044B 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	3V-RH-044C 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	3V-RH-047A 機能・性能試験	機能・性能試験	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	余熱除去ラインループ3B低温側入口第1逆止弁	分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検	G3	39M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	余熱除去系出口連絡ライン弁3A	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(電動機)		130M		
	余熱除去系出口連絡ライン弁3B	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3A高温側注入弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(電動機)		130M		
	余熱除去ラインループ3B高温側注入弁	分解点検(弁本体)	G3	130M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(電動機)		195M		
	余熱除去ラインループ3B高温側入口逆止弁	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検				

機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	余熱除去ラインループ3C高温側入口逆止弁	分解点検	G3	78M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	ループ3B余熱除去系第1入口弁	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	130M 130M 195M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	ループ3C余熱除去系第1入口弁	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部) 分解点検(電動機)	G3	130M 130M 195M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	余熱除去冷却器3A出口流量調整弁	機能・性能試験 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	4C,8C 104M 52M	84 1次系弁検査 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施
	余熱除去冷却器3B出口流量調整弁	機能・性能試験 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	4C,8C 104M 52M	84 1次系弁検査 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施
	余熱除去ループ3A流量制御弁	機能・性能試験 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	4C,8C 104M 52M	84 1次系弁検査 20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	弁本体、駆動部の分解点検に合 わせて実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	余熱除去ループ3B流量制御弁	機能・性能試験 3FCV-614	G3	4C,8C	84 1次系弁検査	弁本体,駆動部の分解点検に合 わせて実施	
	余熱除去冷却器3A	分解点検(弁本体)		104M	20 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (低圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
		開放点検		G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
	余熱除去冷却器3B	非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査		
		開放点検		G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁一式	非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査		
		分解点検 他		G3,G4	104M~ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他機器一式	単体調整試験 他		G2	13M		
	原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備]	燃料取替用水タンク3号	開放点検	G3	195M		
原子炉冷却系統施設 [燃料取替用水設備] その他機器一式		単体調整試験 他		13M			
		機能・性能試験		G3	1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
高圧及び低圧注入系		機能・性能試験(状態監視含む)		G3	6M	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 [対象設備] ・高圧注入ポンプ3A, 3B ・余熱除去ポンプ3A, 3B
		分解点検		G3	195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分計潤滑油診 断:2C)
高圧注入ポンプ3A		分解点検		G3	130M	(振動診断:1M)	
高圧注入ポンプ3A電動機		分解点検		G3	195M	17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 (高圧注入系ポンプ) 145 その他原子炉注水系ポンプ分解 検査	(振動診断:1M, 油分計潤滑油診 断:2C)
		分解点検		G3	130M	(振動診断:1M)	
高圧注入ポンプ3B		分解点検		G3	130M	(振動診断:1M)	
高圧注入ポンプ3B電動機		分解点検		G3	130M	(振動診断:1M)	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	高圧注入ポンプ3A入口弁	3V-SI-002A	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
				130M			
				195M			
	高圧注入ポンプ3B入口弁	3V-SI-002B	機能点検(弁本体)	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			機能点検(電動機)		130M		
			機能点検(電動機)		195M		
			機能点検(電動機)				
	高圧注入ポンプ3A封水注入ライン止弁	3V-SI-026A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施
			機能点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
			機能点検(電動機)		130M		
			機能点検(電動機)		195M		
			機能・性能試験		10C,15C	84 1次系弁検査	
機能点検(弁本体)			130M		18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
高圧注入ポンプ3B封水注入ライン止弁	3V-SI-026B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		機能点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		機能点検(電動機)		130M			
		機能点検(電動機)		195M			
		機能・性能試験		10C,15C	84 1次系弁検査		
		機能点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
高圧注入ライン隔離弁3A	3V-SI-062A	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体, 電動機の分解点検に合 わせて実施	
		機能点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		機能点検(電動機)		130M			
		機能点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
高圧注入ライン隔離弁3B	3V-SI-062B	機能・性能試験	G3	10C,15C	84 1次系弁検査	弁本体、電動機の分解点検に合 わせて実施
		分解点検(弁本体)		130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
高圧注入ポンプ出口連絡弁3A	3V-SI-066A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
高圧注入ポンプ出口連絡弁3B	3V-SI-066B	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
高温側高圧注入ライン止弁3A	3V-SI-067A	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
高温側高圧注入ライン止弁3B	3V-SI-067B	分解点検(弁本体)	G3	130M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解 検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	高圧注入ラインループ3A低温側第2逆止弁	3V-SI-072A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B低温側第2逆止弁	3V-SI-072B 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C低温側第2逆止弁	3V-SI-072C 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3A低温側第1逆止弁	3V-SI-075A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B低温側第1逆止弁	3V-SI-075B 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C低温側第1逆止弁	3V-SI-075C 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3A高温側第2逆止弁	3V-SI-079A 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3B高温側第2逆止弁	3V-SI-079B 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3C高温側第2逆止弁	3V-SI-079C 分解点検	G3	260M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	高圧注入ラインループ3A高温側第1逆止弁	3V-SI-082A 分解点検	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕		
	高圧注入ラインループ3B高温側第1逆止弁	3V-SI-082B	G3	65M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		3V-SI-082C					G3	65M
	格納容器再循環サブ3A隔離弁	3V-SI-093A	G3	156M	18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (高圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		分解点検(駆動部)					130M	
		分解点検(電動機)					195M	
		3V-SI-093B					G3	156M
	分解点検(駆動部)	130M						
	分解点検(電動機)	195M						
	蓄圧注入系	G3	1C	16 非常用炉心冷却系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査				
	3V-SI-132A					G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査
	蓄圧クック3A出口弁	3V-SI-132A	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査			
		分解点検(駆動部)				130M		
分解点検(電動機)		195M						
3V-SI-132B		G3				130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
分解点検(駆動部)	130M							
分解点検(電動機)	195M							
3V-SI-132B	G3		130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査				
分解点検(駆動部)		130M						
		分解点検(電動機)		195M				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	蓄圧タンク3C出口弁	3V-SI-132C 分解点検(弁本体)	G3	130M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	蓄圧タンク3A出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134A 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-134B 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	蓄圧タンク3C出口注入ライン第2逆止弁	3V-SI-134C 分解点検	G3	78M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-136A 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	蓄圧タンク3B出口注入ライン第1逆止弁	3V-SI-136B 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		3V-SI-136C 分解点検	G3	39M	22 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 (蓄圧注入系主要弁) 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	蓄圧タンク3A	開放点検	G3	195M		
	蓄圧タンク3B	開放点検	G3	195M		
	蓄圧タンク3C	開放点検	G3	195M		
	格納容器再循環サブ3A	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	格納容器再循環サブ3B	外観点検	G3	1C, 2C	89 1次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3, G4	78M~ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕 〔非常用炉心冷却設備〕	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他AM弁一式	分解点検 他	G3	156M～ 208M	84 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他AM弁一式	分解点検 他	G2,G3	13M～ 195M		
	原子炉冷却系統施設 〔非常用炉心冷却設備〕 その他AM弁一式	機能・性能試験	G3	1C	69 充てんポンプ冷却材補給系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
	充てんポンプ3A冷却材補給系	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3A	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:6M)
	充てんポンプ3A電動機	潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3B	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:3M)
	充てんポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:6M)
	充てんポンプ3C	潤滑油入替		13M		
	充てんポンプ3C電動機	分解点検	G3	65M	145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:3M)
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕	体積制御タンク3号	開放点検	G3	195M		
	冷却材フィルタ3号	開放点検	G3	130M		
	非再生冷却器3号	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他AM弁一式	分解点検 他	G3,G4	13M～ 390M	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉冷却系統施設 〔化学体積制御設備〕 その他AM弁一式	分解点検 他	G2～G4	13M～ 390M		
	原子炉補機冷却系	機能・性能試験	G3	1C	15 原子炉補機冷却系機能検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕
	原子炉補機冷却水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)
	原子炉補機冷却水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
		分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査	
		潤滑油入替		26M		
	原子炉補機冷却水ポンプ3C電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)
		分解点検		130M		
		潤滑油入替		26M		
原子炉補機冷却水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)	
	分解点検		130M	82 1次系ポンプ分解検査		
	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 2C)	
原子炉補機冷却水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	10C	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 1M, 油分率潤滑油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)	
	分解点検		130M			
	潤滑油入替		26M			
原子炉補機冷却水冷却器3A	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		26M	91 1次系熱交換器検査		
	漏えい試験		2C	91 1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	原子炉補機冷却水冷却器3B	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験			91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験			91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3C	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験			91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験			91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水冷却器3D	開放点検	G3	26M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験			91 1次系熱交換器検査	
		漏えい試験			91 1次系熱交換器検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク3号	開放点検	G3	195M		
		分解点検 他			85 1次系安全弁検査 84 1次系弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	
		分解点検 他			84 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他AM弁一式	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却水設備〕 その他AM弁一式	単体調整試験 他	G2	13M		
		機能・性能試験				
		分解点検			121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M)	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	海水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	
		分解点検			120 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験			121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:1C)	
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	海水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	104M		
		潤滑油入替			26M	
		機能・性能試験				
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕	海水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査 (振動診断:1M)	
		分解点検			120 2次系ポンプ分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 〔原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置〕 原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸〕	海水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	海水ポンプ3C	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		8C	121 2次系ポンプ機能検査	
	分解点検	104M				
	潤滑油入替	26M				
	海水ポンプ3D	機能・性能試験	G3	2C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
		分解点検		26M		
		機能・性能試験		8C	121 2次系ポンプ機能検査	
	分解点検	104M				
潤滑油入替	26M					
原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁一式 原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他機器(海水配管含む)一式 格納容器ポンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	海水ポンプ3D電動機	機能・性能試験	G3	8C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:1C)
		分解点検		104M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他の弁一式	機能・性能試験	G3	26M~ 195M	122 2次系弁検査	
		分解点検		26M		
		潤滑油入替		26M		
	原子炉冷却系統施設 〔原子炉補機冷却海水設備〕 その他機器(海水配管含む)一式	機能・性能試験	G3	26M~ 156M	122 2次系弁検査	一部位点検実施
		分解点検		26M		
		潤滑油入替		26M		
	格納容器ポンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	G2	1C	78 格納容器ポンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検査機能検査	
		分解点検		1C	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		潤滑油入替		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
高圧タービン	機能・性能試験	G1	1C	55 総合負荷性能検査 129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)		
	分解点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査		
	部分点検		26M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔復水器〕	再熟蒸気止め弁3A	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3B	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3C	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	再熟蒸気止め弁3D	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3A	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3B	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3C	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	インターセプト弁3D	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	IC	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
		開放点検		4YP	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットセル3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器ホットセル3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査	
	復水器出入口水室3A	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査	
		開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査	
復水器出入口水室3B	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査		
	開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査		
復水器出入口水室3C	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査		
	開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査		
復水器出入口水室3D	開放点検	G3	13M	128 蒸気タービン開放検査		
	開放点検		13M	128 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	復水ポンプ3A	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3B	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水ポンプ3C	分解点検	G4	78M		
	復水ポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:1C)
		潤滑油入替		26M		
	復水器真空ポンプ3A	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3A電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	復水器真空ポンプ3B電動機	分解点検	G4	130M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	復水器通器3号	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査	
	循環水ポンプ3A	分解点検	G3	39M		(油分枠潤滑油診断:1C)
	循環水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M		
	循環水ポンプ3B	分解点検	G3	39M		(油分枠潤滑油診断:1C)
	循環水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分枠潤滑油診断:6M)
		潤滑油入替		39M		
	復水器真空ポンプセパレータタンク3A逃がし弁	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M		
		漏えい試験		10C	123 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	復水器真空ポンプセパレーター3B逃がし弁 3V-BS-657B	機能・性能試験	G4	10C	123 2次系安全弁検査	
		分解点検		130M		
		漏えい試験		10C	123 2次系安全弁検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン〔復水器〕 その他機器 一式	分解点検	G3	CBM		(振動診断:IC)復水器水室空気抜ポンプ,復水器水室空気抜ポンプ(電動機)
				開放点検(GEN側蒸気室)	G3	128 蒸気タービン開放検査
				開放点検(GOV側蒸気室)	104M	128 蒸気タービン開放検査
	水分離加熱器3A	開放点検(胴側蒸気室)	G3	52M	128 蒸気タービン開放検査	
				非破壊試験	104M	128 蒸気タービン開放検査
				漏えい試験	8C	128 蒸気タービン開放検査
	水分離加熱器3B	開放点検(GEN側蒸気室)	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査	
				開放点検(GOV側蒸気室)	104M	128 蒸気タービン開放検査
				開放点検(胴側蒸気室)	52M	128 蒸気タービン開放検査
	脱気器3A	非破壊試験	G3	104M	128 蒸気タービン開放検査	
				漏えい試験	8C	128 蒸気タービン開放検査
				開放点検	104M	124 2次系容器検査
脱気器3B	開放点検	G3	104M	124 2次系容器検査		
			開放点検	26M	124 2次系容器検査	
			開放点検	130M	125 2次系熱交換器検査	
脱気器3号	開放点検	G3	10C	125 2次系熱交換器検査		
			開放点検	52M	125 2次系熱交換器検査	
			非破壊試験	52M	125 2次系熱交換器検査	
第1低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	4C	125 2次系熱交換器検査		
			開放点検			
			漏えい試験			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	第1低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
	第2低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
第3低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査		
第3低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査		
第4低圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査		
第4低圧給水加熱器3B	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査		
	漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する 給水ポンプ及び貯水設備 並びに給水処理設備〕	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕 その他の弁一式	分解点検 他	G4	52M～ 65M		
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕 その他の機器一式	開放点検 他	G4,G5	104M		一部BDMあり
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する 給水ポンプ及び貯水設備 並びに給水処理設備〕	補助給水系	機能・性能試験	G3	1C	23 補助給水系機能検査	
	タービン動補助給水ポンプ3号	機能・性能試験	G3	10C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:3M)
	電動補助給水ポンプ3A	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	
	電動補助給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替	G3	26M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B	分解点検	G3	130M	24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	電動補助給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替	G3	26M		
	蒸気タービン附属設備	機能・性能試験	G3	1C	142 蒸気タービン附属設備機能検査	
	復水ブロースタポンプ3A	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	復水ブロースタポンプ3A電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	復水ブロースタポンプ3B	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	復水ブロースタポンプ3B電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)
	復水ブロースタポンプ3C	分解点検	G4	117M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
復水ブロースタポンプ3C電動機	分解点検	G4	78M		(振動診断:1M)	
給水ブロースタポンプ3A	分解点検	G3	78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕	
	給水ポンプ3A電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診 断:1C)	
		潤滑油入替		13M			
	給水ポンプ3B	分解点検	G3	78M			
		給水ポンプ3B電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診 断:1C)
	給水ポンプ3C	潤滑油入替		13M			
		給水ポンプ3C	分解点検	G3	104M	120 2次系ポンプ分解検査	
	給水ポンプ3C電動機	分解点検	G3	104M			(振動診断:6M, 油分析潤滑油診 断:2C)
		潤滑油入替		52M			
	電動主給水ポンプ3号	分解点検	G3	130M			(振動診断:6M, 油分析潤滑油診 断:1C)
		ロータ精密点検		260M		120 2次系ポンプ分解検査	
	電動主給水ポンプ3号電動機	分解点検	G3	130M			(振動診断:6M)
		タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診 断:3M)
	主給水ポンプタービン3A	分解点検		78M			
		タービン動主給水ポンプ3A	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	分解点検		52M		120 2次系ポンプ分解検査	
		タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3A	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査	
	タービン動主給水ポンプ3B	分解点検		52M			
		タービン動主給水ポンプ3B	機能・性能試験	G3	6C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診 断:3M)
	主給水ポンプタービン3B	分解点検		78M			
		主給水ポンプタービン3B	機能・性能試験	G3	4C	121 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	分解点検		52M		120 2次系ポンプ分解検査		
	タービン動主給水ポンプ保安装置・調速装置 3B	機能・性能試験	G3	1C	121 2次系ポンプ機能検査		
		分解点検		52M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービン 蒸気タービンに附属する 管等]	補助給水タンク3号	開放点検	G3	104M		
	第6高圧給水加熱器3A	開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
		非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	52M	125 2次系熱交換器検査	
	第6高圧給水加熱器3B	非破壊試験		52M	125 2次系熱交換器検査	
		漏えい試験		4C	125 2次系熱交換器検査	
		開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3A	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3B	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3C	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3D	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	復水脱塩塔3E	開放点検	G3	130M	124 2次系容器検査	
	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン(蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) その他機器 一式	分解点検 他	G3,G4	13M~ 195M		(振動診断:1M)[アンモニア注入ポンプ 電動機、希ドリン注入ポンプ電動 機] (振動診断:1C)[濃ドリン注入ボ ンプ電動機、予備薬注ポンプ電動 機] (振動診断:1C、油分析、潤滑油診 断:1C)[蒸気発生器水張ポンプ] (振動診断:1C、油分析:1C、潤滑 油診断:2C)[蒸気発生器水張ポン プ電動機]
	主配管(主蒸気系統・再熱蒸気系統・抽 気系統) 一式	開放点検(非破壊試験)	G3	※1	128 蒸気タービン開放検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。
目視点検			1C	128 蒸気タービン開放検査		
非破壊試験		G3	※1	126 2次系配管検査	※1 2次系配管肉厚検査計画に よる。	
	外観点検		1C	126 2次系配管検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [その他設備]	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器 一式	開放点検 他	G3,G4	52M~ 104M			
		機能・性能試験	G1,G3	IC	55 総合負荷性能検査	定検起動後	
	主蒸気タンク弁3A	3TCV-500A	機能・性能試験	G3	IC	129 蒸気タービン性能検査(保安装置検査)	一部定検起動後
			分解点検(弁本体)		13M	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
		分解点検(駆動部)		78M	122 2次系弁検査		
		機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査		
	主蒸気タンク弁3B	3TCV-500B	分解点検(弁本体)		13M	122 2次系弁検査	一部アラート運転中
			分解点検(駆動部)		78M		
		機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部アラート運転中	
	主蒸気タンク弁3C	3TCV-500C	分解点検(駆動部)		78M		
			アラートハットキ取替		13M		
機能・性能試験		G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査			
分解点検(弁本体)			52M	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
主蒸気タンク弁3D	3TCV-500D	分解点検(駆動部)		78M			
		アラートハットキ取替		13M			
	機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査			
	分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
主蒸気タンク弁3E	3TCV-500E	分解点検(駆動部)		78M			
		アラートハットキ取替		13M			
	機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査			
	分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	一部アラート運転中		
分解点検(駆動部)		78M					
アラートハットキ取替		13M					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
計測制御系統施設 〔制御材〕	主蒸気タンク弁3F	3TCV-500F	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中	
		機能・性能試験		52M	122 2次系弁検査		
		分解点検(弁本体)		78M			
		分解点検(駆動部)		13M			
	主蒸気タンク弁3G	3TCV-500G	機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
			分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
			分解点検(駆動部)		78M		
			アラートハット取替		13M		
	主蒸気タンク弁3H	3TCV-500H	機能・性能試験	G3	IC	61 主蒸気タンク弁機能検査	一部アラート運転中
			分解点検(弁本体)		52M	122 2次系弁検査	
分解点検(駆動部)			78M				
アラートハット取替			13M				
計測制御系統施設 〔制御材〕	原子炉冷却系統施設 蒸気タービン[その他設備]その他の弁 一式	機能・性能試験	G3, G4	13M~	122 2次系弁検査	一部アラート運転中	
		分解点検 他		390M	123 2次系安全弁検査		
		分解点検 他		13M~			
		分解点検 他		260M	(ターニング油ポンプ)電動機 振動診断: 6M 他)		
	制御棒クスタ	48体	機能・性能試験	G2	IC	106 制御棒クスタ動作検査	※ 炉心設計による
			外観点検		IC	107 制御棒クスタ検査	
	制御棒クスタ バーナブルボイスン ブレイクゲデハイス 2次中性子源	48体 ※ 一式 ※ 一式	機能・性能試験	G3	IC	30 制御棒駆動系機能検査	(振動診断: 1M, 油分検出油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)
			機能・性能試験		IC	106 制御棒クスタ動作検査	
			分解点検		39M		
			潤滑油入替		26M		
制御棒駆動系	48本	機能・性能試験	G2	IC	30 制御棒駆動系機能検査	(振動診断: 1M, 油分検出油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)	
		機能・性能試験		IC	106 制御棒クスタ動作検査		
制御棒駆動用電源M-Gセット3A 発電機		分解点検	G3	39M		(振動診断: 1M, 油分検出油診断: 1C, 赤外線診断: 1M)	
		潤滑油入替		26M			
制御棒駆動用電源M-Gセット3A 電動機		分解点検	G3	39M		(振動診断: 1M, 赤外線診断: 1M)	
		潤滑油入替		26M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
計測制御系統施設 〔ほう酸注入機能を有する設備〕	制御機駆動用電源M-Gレト3B 発電機	分解点検 潤滑油入替	G3	39M 26M		(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:1C, 赤外線診断:1M)
	制御機駆動用電源M-Gレト3B 電動機	分解点検	G3	39M		(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
	ほう酸ポンプ3A	機能・性能試験 分解点検 メカニカルシール取替	G3	1C 156M 78M	31-2 ほう酸ポンプ機能検査 31-1 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:2C)
	ほう酸ポンプ3A 電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	ほう酸ポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G3	1C 156M	31-2 ほう酸ポンプ機能検査 31-1 ほう酸ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:2C)
	ほう酸ポンプ3B 電動機	分解点検	G3	78M		(振動診断:1M)
	1次系補給水ポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:2C)
	1次系補給水ポンプ3A 電動機	分解点検	G3	6C 78M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	1次系補給水ポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G3	10C 130M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M, 油分分析潤滑油診断:2C)
	1次系補給水ポンプ3B 電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	83 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1M)
	ほう酸タンク3A	開放点検	G3	195M		
	ほう酸タンク3B	開放点検	G3	195M		
	1次系純水タンク3号	開放点検	G3	195M		
	ほう酸ワルツ3号	開放点検	G3	130M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
計測制御系統施設[発電用原子炉の運転を管理するための制御装置]	事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	7個 20個 9個 10個	G2,G4	13M	35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気ガス試料採取設備	1台	G3	13M	35 プラント状態監視設備機能検査	
	1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器圧力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 一式		G2,G3	IC	71 計測制御系機能検査	
	1.1次系計測制御装置 2.2次系計測制御装置 一式		G1~G4	12M~ 104M	72 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中
	炉外核計測装置 1.線源領域計測装置 2.中間領域計測装置 3.出力領域計測装置	2台 2台 4台	G1,G2	13M~ 26M	105 核計装設備検査	一部起動後
	炉内核計測装置 一式		G2	IC	105 核計装設備検査	
	制御棒位置指示装置	48個	G2	13M	108 制御棒位置指示装置設定値検査	
	IISシフトチェーブ	50本	G3	78M	109 炉内計装用シフトチェーブ体積検査	
	パージポンプ回路 1.原子炉保護系ロジック関連 2.安全保護系ロジック関連	5回路 2回路	G2	IC	110 安全保護系機能検査(パージポンプロジック検査)	
	総合インターロック 1.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ検査 2.タービントリップによる原子炉、発電機トリップ検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ検査 一式		G1~G3	IC	112 総合インターロック検査	
計測制御系統施設[放射性廃棄物の廃棄施設(気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備)]	計測制御系統施設 その他機器 一式	単体調整試験 他	G1~G5	12M~ 169M	73 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	一部プラント運転中 一部BDMあり
	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路	機能・性能試験	G2	IC	73 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
放射性廃棄物の廃棄施設 [気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備]	開放点検		G3,G5	216M		プラント運転中 一部BDMあり

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
放射線廃棄物の廃棄施設[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	ガス圧縮装置	2台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	IC 78M~ 156M	42 気体廃棄物処理系機能検査	(振動診断:1C, 油分析潤滑油診断:2C)
	ガス圧縮装置電動機	2台 分解点検	G4	130M		
	水素再結合ガス圧縮装置	1台 機能・性能試験(電動機含む) 分解点検 他	G4	IC	42 気体廃棄物処理系機能検査	
	水素ガス圧縮装置電動機	1台 分解点検	G4	104M~ 208M		(振動診断:1C, 油分析潤滑油診断:2C)
	水素再結合装置	1台 機能・性能試験	G4	130M		(振動診断:1C)
	ガス減衰タンク圧力制御弁	6台 機能・性能試験(駆動部含む) 機能・性能試験(駆動部含む) 分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	IC	42 気体廃棄物処理系機能検査 42 気体廃棄物処理系機能検査	
	ほう酸回収装置	1基 機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	アラト運転中
	廃液蒸発装置	2基 機能・性能試験	G4	2Y	64 液体廃棄物処理系機能検査	アラト運転中
	ガス圧縮装置3A気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	ガス圧縮装置3B気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	水素再結合ガス圧縮装置気水分離器破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	水素再結合装置破壊板	分解点検	G4	195M	88 1次系破壊板検査	
	モニタタンクポンプ3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析潤滑油診断:2C)
	モニタタンクポンプ3A電動機	分解点検		CBM		
	モニタタンクポンプ3B	機能・性能試験 分解点検	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分析潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	モニタポンプ*3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
	ほう酸回収装置給水ポンプ*3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 油分・残留油診断:2C)
	ほう酸回収装置給水ポンプ*3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
	ほう酸回収装置給水ポンプ*3B	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 油分・残留油診断:2C) 分解未実施
	ほう酸回収装置給水ポンプ*3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
	廃液蒸留水ポンプ*3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 油分・残留油診断:2C)
	廃液蒸留水ポンプ*3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
	廃液蒸留水ポンプ*3B	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 油分・残留油診断:2C)
	廃液蒸留水ポンプ*3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)
	洗浄排水ポンプ*3A	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C, 油分・残留油診断:2C)
	洗浄排水ポンプ*3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G4	B CBM	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1C)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	洗浄排水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モータポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モータポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モータポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	洗浄排水モータポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	強酸トロンポンプ3号(電動機含む)	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (ヘアリングモニタにより監視)
		分解点検		CBM		
	格納容器冷却材トロンポンプ3A	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トロンポンプ3A電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トロンポンプ3B	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		195M		
	格納容器冷却材トロンポンプ3B電動機	機能・性能試験	G3	15C	96 液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断:1C)
		分解点検		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器ポンプ3A	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
	格納容器ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M		
	格納容器ポンプ3B	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
	格納容器ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	6C	96 液体廃棄物処理系設備検査	
		電動機取替		78M		
	補助建屋タンクポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析) (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋タンクポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋タンクポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解析) (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋タンクポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3A電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	廃液給水ポンプ3B	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C, 油分杆潤滑油診断:2C)
		分解点検		CBM		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	廃液給水ポンプ3B電動機	機能・性能試験	G4	B	96 液体廃棄物処理系設備検査	分解点検に合わせ実施 (振動診断:1C)	
		分解点検		CBM			
放射線廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体 外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備 からの液体状の放射性 廃棄物の漏えいの検出 装置又は自動警報装 置〕	モノ固化装置	機能・性能試験	G4	2Y	115 固体廃棄物処理系モノ固化装置機能検査	プラント運転中	
		分解点検 他	G3,G4	52M~ 195M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査 85 1次系安全弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	一部プラント運転中	
		開放点検 他	G3~G5	12M~ 444M			一部プラント運転中 一部BDMあり
		機能・性能試験 他	G4	5Y	68 液体状の放射性廃棄物の漏えいの 検出装置及び警報装置機能検査 72 計測制御系監視機能検査	プラント運転中	
放射線管理施設 〔放射線管理用計測装 置〕	液体廃棄物貯蔵設備および処理設備の漏 えい防止に係わる警報装置 一式 格納容器高圧モニタ	機能・性能試験	G4	52M~ 60M	118 液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の 警報機能検査	一部プラント運転中	
		特性試験	G2	13M	63-2 エリアモニタ機能検査		
		特性試験	G2~G4	13M	76 放射線監視装置機能検査		
		機能・性能試験	G4	2Y	62 野外モニタ機能検査	プラント運転中または定検停止中	
		単体調整試験 他	G2,G3	13M~ 65M			
		機能・性能試験	G3,G4	1C	40 中央制御室非常用循環系機能検 査		
放射線管理施設 〔換気設備〕	中央制御室再循環ファン3A	機能・性能試験	G3	—			
		分解点検		156M			
		機能・性能試験	G3	6C		(振動診断:1M)	
		分解点検		78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	中央制御室再循環ファン3B	機能・性能試験 分解点検	G3	— 156M		
	中央制御室再循環ファン3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	(振動診断:1M)	
	中央制御室空調ファン3A	機能・性能試験 分解点検	G3	— 195M	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	中央制御室空調ファン3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	中央制御室空調ファン3B	機能・性能試験 分解点検	G3	— 195M	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	中央制御室空調ファン3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	(振動診断:1M, 赤外線診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3A	機能・性能試験 分解点検	G3	— 390M	(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3A電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	156M 390M	(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3B	機能・性能試験 分解点検	G3	— 156M	(振動診断:1M)	
	中央制御室非常用給気ファン3B電動機	機能・性能試験 分解点検	G3	6C 78M	(振動診断:1M)	
	中央制御室空調ユニット3A	開放点検	G3	78M		
	中央制御室空調ユニット3B	開放点検	G3	78M		
	中央制御室非常用給気ファンユニット3号	機能・性能試験(よう素除去効率) 機能・性能試験(漏えい率) 機能・性能試験 開放点検	G3	IC IC — 390M	41 中央制御室非常用循環系ファン検査 41 中央制御室非常用循環系ファン検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器給気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中
		分解点検		CBM		
	格納容器非気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器非気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中
		分解点検		CBM		
	格納容器非気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器非気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中
		分解点検		CBM		
格納容器再循環ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C)	
	分解点検		CBM			
格納容器再循環ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中	
	分解点検		CBM			
格納容器再循環ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中	
	分解点検		CBM			
格納容器再循環ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中	
	分解点検		CBM			
格納容器再循環ファン3C	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中	
	分解点検		CBM			
格納容器再循環ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1C) フロント運転中	
	分解点検		CBM			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器再循環ファン3D	分解点検	G4	156M		
	格納容器再循環ファン3D電動機	分解点検	G4	52M		(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:1C)
	格納容器空気浄化ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (電動機の振動により解析)
		分解点検		CBM		
	格納容器空気浄化ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1C)
		分解点検		CBM		
	補助建屋給気ファン3A	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中
		分解点検		22Y		フロント運転中
	補助建屋給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		フロント運転中
	補助建屋給気ファン3B	機能・性能試験	G4	22Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中
		分解点検		22Y		フロント運転中
	補助建屋給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		フロント運転中
	補助建屋排気ファン3A	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		フロント運転中
補助建屋排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y 6Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M)	
	分解点検		7Y 6Y		フロント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	補助建屋排気ファン3B	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) ファン運転中
		分解点検		CBM		
	補助建屋排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y 6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y 6Y		
	補助建屋排気ファン3C	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M,赤外線診断:1M) ファン運転中
		分解点検		CBM		
	補助建屋排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	7Y 6Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y 6Y		
	燃料取扱建屋空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
	放射線管理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		15Y		
	放射線管理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		
	放射線管理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検		15Y		
	放射線管理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		
	放射線管理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		
	放射線管理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	放射線管理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		ファン運転中
	放射線管理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		15Y		ファン運転中
	ペイ排気ファン3号	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (モータの振動により解折)
		分解点検		CBM		
	ペイ排気ファン3号電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1Y)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3A	機能・性能試験	G4	B 5Y	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM 5Y		
	セメント固化装置オフガスファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	セメント固化装置オフガスファン3B	機能・性能試験	G4	B 5Y	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM 5Y		
	セメント固化装置オフガスファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせて実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室給気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	廃棄物処理室給気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		ファン運転中
	廃棄物処理室給気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中
		分解点検				
	廃棄物処理室給気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	7Y	77 1次系換気空調設備検査	ファン運転中 (振動診断:1M)
		分解点検		7Y		ファン運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕
	廃棄物処理室排気ファン3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3A電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3B	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3B電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3C	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	廃棄物処理室排気ファン3C電動機	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	分解点検に合わせた実施 (振動診断:1M, 赤外線診断:1M)
		分解点検		CBM		
	換気空調設備のその他のファン一式	機能・性能試験	G3,G4	12M~ 300A4250 M	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中 一部フロント運転中
		分解点検		CBM		
	格納容器給気ユニット3A	開放点検	G4	7Y		フロント運転中
	格納容器給気ユニット3B	開放点検	G4	7Y		フロント運転中
	格納容器排気ファンユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中
		開放点検		18Y		
	格納容器排気ファンユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中
		開放点検		18Y		
	補助建屋給気ユニット3号(Aバンク側)	開放点検	G4	7Y		フロント運転中
	補助建屋給気ユニット3号(Bバンク側)	開放点検	G4	7Y		フロント運転中
	補助建屋排気ファンユニット3A	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する 設備診断技術〕
	補助建屋排気ファンユニット3B	機能・性能試験	G4	18Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室給気ユニット3号	開放点検	G4	7Y		プラント運転中
	放射線管理室排気ファンユニット3A	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	放射線管理室排気ファンユニット3B	機能・性能試験	G3	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	ペイ排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G4	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	廃棄物処理室排気ファンユニット3号(Aハング側)	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	廃棄物処理室排気ファンユニット3号(Bハング側)	機能・性能試験	G4	15Y	77 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	格納容器空気浄化ファンユニット3号	機能・性能試験	G3	B	77 1次系換気空調設備検査	ファン(CBM)の機能・性能試験に合 わせて実施
	格納容器減圧排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G4	15C	77 1次系換気空調設備検査	
		開放点検		195M		
	セメント固化装置オフガスファンユニット3A	機能・性能試験	G4	B 5Y	77 1次系換気空調設備検査	
	セメント固化装置オフガスファンユニット3B	機能・性能試験	G4	B 5Y	77 1次系換気空調設備検査	
	中央制御室	漏えい試験	高	6YP	139 中央制御室の居住性確認検査	
		外観点検(貫通部)		1C		
	ガンハングハンパ、防火ガンパ、手動ガン ハ含む)一式	機能・性能試験	G3,G4	13M~ 264M	77 1次系換気空調設備検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁 一式	分解点検 他	G3,G4	26M~ 195M	85 1次系安全弁検査	一部プラント運転中
	放射線管理施設 [換気設備] その他AM弁 一式	分解点検	G3	195M		
	放射線管理施設 [換気設備] その他機器 一式	分解点検 他	G2~G4	12M~ 300M		一部プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉格納施設 〔原子炉格納容器〕	原子炉格納容器	漏えい率試験	G3	3C	43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	通常用エアロック	漏えい率試験 開放点検 部分点検	G3	2C/3C 130M 1C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	非常用エアロック	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器機器搬入口	漏えい率試験 開放点検	G3	130M 1C		
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	電気配線用貫通部 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	配管貫通部(伸縮式配管貫通部、貫通配管フランジ部)及び電気配線用貫通部 一式	開放点検	G3	13M~ 104M		
	原子炉格納容器隔離弁 一式	漏えい率試験	G3	2C/3C	44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	
	格納容器隔離(T・V信号及びPT+UV信号)により隔離される弁	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器隔離(P・V信号)により隔離される弁	機能・性能試験	G3	1C	45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
	格納容器冷却材レゾナンス出口ライオン第1隔離弁3号	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	130M 52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Aファンクling隔離弁	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Bファンクling隔離弁	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	SG-3Cファンクling隔離弁	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	SG-3A7ロータリ/隔離弁	3V-BD-030A	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		78M			
	SG-3B7ロータリ/隔離弁	3V-BD-030B	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		78M			
	SG-3C7ロータリ/隔離弁	3V-BD-030C	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		78M			
	C/V再循環ユニット3A,3B冷却水入口隔離弁 3V-CC-189A	3V-CC-189A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
			分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	C/V再循環ユニット3C,3D冷却水入口隔離弁 3V-CC-189B	3V-CC-189B	分解点検(弁本体)	G3	130M		
			分解点検(駆動部)		195M		
分解点検(電動機)			156M		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
分解点検(弁本体)			130M				
C/V再循環ユニット3A冷却水出口隔離弁 3V-CC-198A	3V-CC-198A	分解点検(弁本体)	G3	130M			
		分解点検(駆動部)		195M			
		分解点検(電動機)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		130M			
C/V再循環ユニット3B冷却水出口隔離弁 3V-CC-198B	3V-CC-198B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
		分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
C/V再循環ユニット3C冷却水出口隔離弁 3V-CC-198C	3V-CC-198C	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			
		分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(電動機)		130M			
		分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	C/V再循環ユニット3D冷却水出口隔離弁	3V-CC-198D 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	CRDMおよび余剰抽出クレー冷却水入口隔離弁3号	3V-CC-342 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	CRDMおよび余剰抽出クレー冷却水出口隔離弁3号	3V-CC-349 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	RCP冷却水入口第2隔離弁3号	3V-CC-401 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
RCP冷却水入口第1隔離弁3号	3V-CC-403 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
RCP冷却水出口第1隔離弁3号	3V-CC-427 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
RCP冷却水出口第2隔離弁3号	3V-CC-429 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	DRP(冷却ユニット)3号入口隔離弁	3V-CH-404 分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		クランクハンギン取替		52M		
	DRP(冷却ユニット)3号出口隔離弁	3V-CH-410 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		3V-CS-004A 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	抽出オリフイス隔離弁3B	3V-CS-004B 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		3V-CS-004C 分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	抽出オリフイス隔離弁3号	3V-CS-007 分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		52M		
		クランクハンギン取替		52M		
	封水戻りオリフイス第1隔離弁3号	3V-CS-213 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
封水戻りオリフイス第2隔離弁3号	3V-CS-214 分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			
格納容器減圧装置第1隔離弁3号	3V-DP-001 分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		52M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕	
	格納容器減圧装置第2隔離弁3号	3V-DP-002	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		52M			
		分解点検(駆動部)					
	消火系格納容器隔離弁3号	3V-FS-503	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(弁本体)		52M			
		分解点検(駆動部)		52M			
			クランプハンペン取替				
	制御用空気供給ヘッダ3A格納容器隔離弁	3V-IA-508A	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		130M		
			分解点検(電動機)		195M		
	制御用空気供給ヘッダ3B格納容器隔離弁	3V-IA-508B	分解点検(弁本体)	G3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
分解点検(駆動部)			130M				
分解点検(電動機)			195M				
炉内核計装装置ガスハンジライン第2隔離弁3号	3V-IG-008	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
炉内核計装装置ガスハンジライン第1隔離弁3号	3V-IG-009	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		52M			
加圧器逃がしタンクガス分析ライン第1隔離弁3号	3V-RC-077	分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M			
加圧器逃がしタンクガス分析ライン第2隔離弁3号	3V-RC-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M			
加圧器逃がしタンク窒素隔離弁3号	3V-RC-084	分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		104M			
		クランプハンペン取替					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	加圧器逃がしタンク補給水隔離弁3号	3V-RC-095 分解点検(弁本体)	C3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
		クランクハンギン取替		52M		
	格納容器空気モーター第1隔離弁3号	3V-RM-001 分解点検(弁本体)	C3	156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	格納容器空気モーター第2隔離弁3号	3V-RM-002 分解点検(弁本体)	C3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
		3V-RM-018 分解点検(弁本体)		52M		
	分解点検(駆動部)	104M				
	安全注入テストライン第1戻り弁3号	3V-SI-144 分解点検(弁本体)	C3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		104M		
クランクハンギン取替		52M				
蓄圧タンク補給ライン隔離弁3号	3V-SI-145 分解点検	C3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M			
	3V-SI-147 分解点検(弁本体)		52M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
分解点検(駆動部)	104M					
蓄圧タンク窒素隔離弁3号	3V-SI-165 分解点検(弁本体)	C3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M			
	3V-SS-503 分解点検(弁本体)		52M			46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
分解点検(駆動部)	78M					
加圧器液相部ブランケット隔離弁3号	3V-SS-523 分解点検(弁本体)	C3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M			
	分解点検(駆動部)		78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	ループ3A高温側および加圧器サブリング隔離弁	3V-SS-524 分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	ループ3A高温側サブリング隔離弁	3V-SS-543A 分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	ループ3B高温側サブリング第1隔離弁	3V-SS-543B 分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		130M		
		分解点検(電動機)		195M		
	ループ3B高温側サブリング第2隔離弁	3V-SS-544 分解点検(弁本体)	G3	26M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	蓄圧タンク3Aサブリング隔離弁	3V-SS-563A 分解点検(弁本体)	G3	104M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
蓄圧タンク3Bサブリング隔離弁	3V-SS-563B 分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M			
蓄圧タンク3Cサブリング隔離弁	3V-SS-563C 分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M			
蓄圧タンクサブリング隔離弁3号	3V-SS-564 分解点検(弁本体)	G3	78M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		104M			
格納容器真空逃がし装置3A隔離弁	3V-VR-001A 分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		52M			
格納容器真空逃がし装置3B隔離弁	3V-VR-001B 分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		52M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕	
	格納容器真空速がし弁3A	3V-VR-003A 機能・性能試験	G3	1C	47 原子炉格納容器真空速がし弁機能検査		
		分解点検(弁本体)		156M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検(駆動部)		156M			
		3V-VR-003B 機能・性能試験		G3	1C		47 原子炉格納容器真空速がし弁機能検査
		分解点検(弁本体)			156M		46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		分解点検(駆動部)			156M		
	格納容器冷却材ポンプ出口ライン第2隔 離弁3号	3V-WL-032	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器冷却材レンクガス分析ライン第1 隔離弁3号	3V-WL-078	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材レンクガス分析ライン第2 隔離弁3号	3V-WL-079	分解点検(弁本体)	G3	52M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材レンクガス分析ライン第1 隔離弁3号	3V-WL-084	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器冷却材レンクガス分析ライン第2 隔離弁3号	3V-WL-085	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材ポンプ出口第1隔離弁3号	3V-WL-090	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		104M		
	格納容器冷却材ポンプ出口第2隔離弁3号	3V-WL-124	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		52M		
	格納容器冷却材ポンプ出口第1隔離弁3号	3V-WL-125	分解点検(弁本体)	G3	130M	46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			分解点検(駆動部)		52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉格納施設〔圧力低減設備その他の安全設備〕	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他の弁一式	分解点検 他	G3	13M~ 208M	84 1次系弁検査 86 1次系逆止弁検査	
	原子炉格納施設〔原子炉格納容器〕 その他機器一式	開放点検	G3	1C		〔対象設備〕 ・アエロスタット
	原子炉格納容器スプレイ系	機能・性能試験	G3	1C	48 原子炉格納容器安全系機能検査 147 その他原子炉注水系機能検査	
		機能・性能試験(状態監視含む)		6M	137 運転中安全系ポンプ機能検査	プラント運転中 〔対象設備〕 ・格納容器スプレイ体ノブ3A,3B
	格納容器スプレイ冷却器3A	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイ冷却器3B	開放点検	G3	195M	91 1次系熱交換器検査	
		非破壊試験		390M	91 1次系熱交換器検査	
	格納容器スプレイ体ノブ3A	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	格納容器スプレイ体ノブ3A電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析+1C潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		26M		
	格納容器スプレイ体ノブ3B	分解点検	G3	195M	49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 145 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1M, 油分析潤滑油診断:2C)
	格納容器スプレイ体ノブ3B電動機	分解点検	G3	130M		(振動診断:1M, 油分析+1C潤滑油診断:2C)
		潤滑油入替		26M		
よう素除去薬品クワ3号	開放点検	G3	390M	89 1次系容器検査		
格納容器スプレイ体ノブ3A入口弁	3V-CP-001A 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		130M			
	分解点検(電動機)		195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器スプレッドポンプ3B入口弁	3V-CP-001B 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)				
		分解点検(電動機)				
	格納容器スプレッドポンプ3A出口弁	3V-CP-021A 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)				
		分解点検(電動機)				
	格納容器スプレッドポンプ3B出口弁	3V-CP-021B 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 146 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)				
		分解点検(電動機)				
	よう素除去薬品タンク出口第1弁3A	3V-CP-054A 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)				
		分解点検(電動機)				
よう素除去薬品タンク出口第1弁3B	3V-CP-054B 分解点検(弁本体)	G3	156M	50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
	分解点検(駆動部)					
	分解点検(電動機)					
原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁一式	84 1次系弁検査 85 1次系安全弁検査 86 1次系逆止弁検査 87 1次系真空破壊弁検査	G3, G4	13M~ 390M			
						86 1次系逆止弁検査
原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] その他AM弁一式	86 1次系逆止弁検査	G3	130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔 ()内は適用する設備診断技術〕
	格納容器再循環ユニット3A	開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
	格納容器再循環ユニット3B	開放点検	G3	78M	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュアス循環排気系	機能・性能試験	G3	1C	38 アニュアス循環排気系機能検査	
	アニュアス排気ファン3A	分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
	アニュアス排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	アニュアス排気ファン3B	分解点検	G3	260M		(振動診断:1M)
	アニュアス排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:1M)
	アニュアス排気フィルタユニット3A	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1C	39 アニュアス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュアス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュアス排気フィルタユニット3B	機能・性能試験(よう素除去効率)	G3	1C	39 アニュアス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験(漏えい率)		1C	39 アニュアス循環排気系フィルタ性能検査	
		機能・性能試験		30C	77 1次系換気空調設備検査	
	アニュアス排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュアス排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュアス全量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
		分解点検(駆動部)		78M		
	アニュアス全量排気弁3B	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	分解点検(駆動部)		78M			
アニュアス少量排気弁3A	分解点検(弁本体)	G3	78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
	分解点検(駆動部)		78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 〔()内は適用する設備診断技術〕
原子炉施設 〔その他設備〕	7-ニューパス少量排気弁3B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	7-ニューパス戻り弁3A	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	7-ニューパス戻り弁3B	分解点検(弁本体) 分解点検(駆動部)	G3	78M 78M	156 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	安全補機室空気浄化系	機能・性能試験	G3	1C	77 1次系換気空調設備検査	
	安全補機室排気ファン3A	分解点検	G3	260M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3A電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B	分解点検	G3	260M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファン3B電動機	分解点検	G3	156M		(振動診断:6M)
	安全補機室排気ファンユニット3号	機能・性能試験	G3	20C	77 1次系換気空調設備検査	
	ガンパ(ガンパオパレット)含む 一式	開放点検		260M		一部アラート運転中
	原子炉格納施設[圧力低減設備その他の安全設備] 其他機器 一式	機能・性能試験 開放点検 機能・性能試験	G3	13M~144M 390M	77 1次系換気空調設備検査 89 1次系容器検査	[対象設備] ・PI調整利貯蔵タンク
	ガス1機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G1,G3	10YP	1 ガス1機器供用期間中検査 144 重大事故等ガス2機器供用期間中検査	
	(重大事故等ガス2機器供用期間中検査対象を含む)	漏えい試験		1C		
	ガス2機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	5 ガス2機器供用期間中検査 144 重大事故等ガス2機器供用期間中検査	
	(重大事故等ガス2機器供用期間中検査対象を含む)	漏えい試験		10YP		
	ガス3機器(供用期間中検査対象) 一式	非破壊試験	G3	10YP	104 ガス3機器供用期間中検査	一部アラート運転中
	(重大事故等ガス3機器供用期間中検査対象を含む)	漏えい試験		10YP		